

東京放射線

2016年11月号

Vol.63 No.744



公益社団法人 東京都診療放射線技師会
<http://www.tart.jp/>

お知らせ 報告

研修会等申込書

平成28・29年度 地区・特別委員会の力才

第67回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会（抄）
平成27年度 功労賞（勤続20年表彰）・小野賞受賞者

平成28年度第11地区研修会
平成28年度第3地区研修会

平成28年度城北支部研修会
第61回日暮里塾ワシコインセミナー

卷頭言 三つの宝物 石田秀樹

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要件となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

診療放射線技師のための接遇規範

1. 検査に際しては明瞭で分かりやすい言葉（患者さんの分かる言葉）で話す。
2. 患者さんをお呼びするときは、姓・名を確認する。
3. お年寄り、歩行困難、病状の悪い患者さんに対する検査室のドアの開閉は、特に技師がおこなう。
4. 検査室入室後は、患者さんから目を離さないようにする。
5. 自分の名前を名乗り、検査部位と撮影回数を説明し、患者さんの同意を得てから検査をおこなう。特に小児やお年寄りの方で検査介助が必要なときは、十分な説明をおこない同意を得てから検査の介助をしていただく。
6. 脱衣の必要な検査は、検査着に着替えていただく。検査の特殊性から脱衣が必要なときは、露出部をバスタオルなどで覆う。
7. 検査台の乗り降りは、原則として患者さんの手の届くところに技師がいる。
8. 検査手順を守り、患者さんの身体に手が触れるときは事前に同意を得てから触れる。
9. できるだけ短時間で検査を終了し、「お疲れさまでした」等の癒しの言葉を述べる。
10. 検査室から患者さんが退出するまでは技師の責任である。
11. 検査室は常に整理整頓、清潔であること。
12. 仕業（始業・終業）点検は毎日おこなう。
13. 検査部位ごとの被ばく線量はいつでも答えられるようにしておく。
14. 照射録は正確に記載する。
15. 医療人として患者さんから高い信頼を得られるよう努力する。

公益社団法人 東京都診療放射線技師会

スローガン

チーム医療を推進し、
国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

2016年
NOV

CONTENTS

目次

診療放射線技師業務標準化宣言	1
診療放射線技師のための接遇規範	2
巻頭言 三つの宝物	4
副会長 石田秀樹	4
会告1 平成28年度城北支部研修会	5
城北支部委員会	5
会告2 第61回日暮里塾ワンコインセミナー	6
学術教育委員会	6
会告3 第9回MRI集中講習会	7
学術教育委員会	7
お知らせ1 平成28年度第11地区研修会	8
第11地区委員会	8
お知らせ2 平成28年度第3地区研修会	9
第3地区委員会	9
お知らせ3 東放技会員所属地区のご案内	10
情報委員会	10
第67回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会（抄）	11
平成27年度 功労賞（勤続20年表彰）・小野賞受賞者	21
平成28・29年度 地区・特別委員会の力	23
こえ	
・第15回サマーセミナーに参加して	匿名希望 30
パイプライン	
・超音波画像研究会 第247回定例会	31
・平成28年度東京都がん検診センター 第3・4回マンモグラフィ研修会（読影補助編）	32
・第15回全国X線撮影技術誌影研究会	34
・平成28年度東京都がん検診センター 第5・6回マンモグラフィ研修会（ポジショニング入門）	36
・平成28年度東京都がん検診センター 第1回乳がん検診従事者講演会	38
・超音波スクリーニング研修講演会2016五反田	39
・平成28年度第3回関東Anglo研究会 スッテップアップセミナー	40
平成28年度第6回 理事会報告	42
平成28年1～9月期会員動向	45
研修会等申込書	49

Column & Information

・お詫びと訂正	22
・東放技は積極的に参加します	29
・イエローケーキ	45
・学術講演会・研修会等の開催予定	46
・求人情報	47、48

卷頭言



「三つの宝物」

副会長 石田秀樹

この度、副会長を拝命いたしました昭和大学歯科病院に勤務する石田秀樹と申します。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。先代の葛西副会長（現監事）が定年退職になるまでの17年間の職責を引き継ぐ事になり、責任重大であることを改めて実感している日々です。

私は前中澤会長体制で1期、篠原会長体制で3期、総務を経験して本会からたくさんの宝物をもらいました。この宝物を会員の皆さまと一緒に育んでいけたらと思います。

一つ目として、会の活動の心構えを恩師よりいただきました。「会を楽しむ」楽しむためには何事も準備が大切である。

二つ目は「仲間を大切に」、地区・支部のつながりを大切に。

三つ目は「まずは家庭、そして仕事、そして最後に技師会だよ」でした。優先順位がはっきりしていて俾れないで今でもお手本になっています。

最近、感銘を受けた講義にクッシング症候群の名付け親である、クッシング氏が学生（外科医）に向けて発した言葉があります。この言葉に感銘を受け、とても心が晴れやかになれたので皆さんにお伝えしたいと思います。

Academic surgeon (Harvey W. Cushing 1869-1939)

1. He must be a researcher.

（彼は、研究者でなければならない）

2. He must be able to inoculate others with a spirit for research.

（彼は、他者に研究の精神を植え付けることができなければならない）

3. He must be a tried (reliable) teacher.

（彼は、あてになる《信頼できる》先生でなければならない）

4. He must be a capable administrator of his large staff and department.

（彼は、大きなスタッフと部門の有能な管理者でなければならない）

5. He must, of course, be a good operating surgeon.

（彼は、もちろん、上手な手技の外科医でなければならない）

6. He must be co-operative.

（彼は協力的でなければならない）

7. He must have high ideals, social standing and an agreeable wife.

（彼には、高い理想、社会的地位と良い伴侶をもたなければならない）

クッシング氏は良き研究者の心得を説いていて、組織のリーダー論にもふれ、最後に成功のカギはよき伴侶（理解者）を持つ事と結んでいます。時代の変化は激しいけれども大事なところは変わらないものだと感銘いたしました。

東京都診療放射線技師会も国際化の波が押し寄せて来ております。女性の理事もますます増え、若い会員が続々と入会してくる魅力あふれる会になるように皆さまと共に楽しみたいと思います。

第15回城北支部研修会

テーマ「もし診療放射線技師が医療安全管理者になつたら —病院の医療安全管理と放射線部門管理の実際—」

講 師：公益社団法人 地域医療振興協会 東京北医療センター 關 良充 氏

2015年10月1日に厚生労働省がはじめた医療事故調査制度もあり、世の中の新聞やマスコミ報道などで報じられる医療事故に大きな関心が集まるようになりました。病院施設でも一部の医療従事者が行った事とはいえ患者家族からの信頼が失われ、安全安心が問われる昨今です。

今から17年前（1999年）医療安全元年といわれたこの年、多くの病院施設に新たな部署として医療安全管理部門が設置されはじめたのが、ついこの間のようになります。病院施設の幹部をはじめ、医療安全の考え方を職員の方々へ知っていただくことからはじめた時期に「医療安全文化の醸成」を推進する役割である医療安全管理者としていろいろ悩み、その時に出会ったのがベストセラーとなったマネジメント著書でした。私が診療放射線技師の仕事から医療安全管理者という全く違う仕事にどのように関わってきたのか、ベストセラー著書の組織マネジメントをヒントに仕事術について一緒に考えようではありませんか。

他職種の方もお誘いの上、ご参加いただきますようお願い申し上げます。

記

日 時：平成28年11月11日（金）19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：公益社団法人 東京都診療放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：診療放射線技師1,000円

新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“城北支部”を選択してください）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

情報交換会：近隣にて（当日ご案内いたします）

問い合わせ：城北支部委員会 E-Mail：shibu_jyouhoku@tart.jp

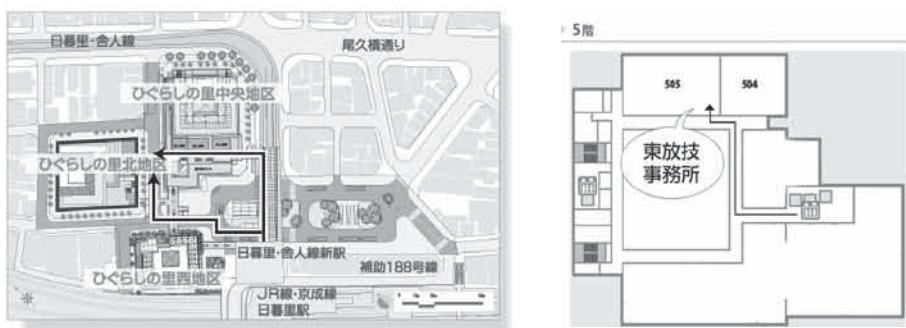
第5地区委員長 稲毛秀一

第6地区委員長 高橋克行

第16地区委員長 工藤年男

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上



*新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

会 告

2

第61回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：明日から役立つ知識
～MRCP～

講 師：東京慈恵会医科大学第三病院 北川 久 氏

今回はMRCP検査を取り上げました。
基本的な考え方（ガイドライン）や撮像方法、
シーケンスなどについて詳細に勉強したいと思います。
多くの方の参加をお待ちしております。



記

日 時：平成28年11月30日(水) 19時00分～20時30分
場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会研修センター
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分
受 講 料：会員500円、非会員3,000円
新卒かつ新入会員*、一般ならびに学生 無料
申込方法：東放技ホームページ (<http://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。
カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育1.5カウント付与
問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

*新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第9回MRI集中講習会

下記の要領にて第9回MRI集中講習会を開催いたします。
各講義では専門試験問題の解説も含めて行います。
講義には本講習会用に出版した「MRI集中講習（改定版）」をテキストとして使用します。（参加者には無料配布）
多くの方の参加をお待ちしております。

～プログラム～

14:00～15:15 原理（基礎）および安全管理（専門試験問題含む）

講師：杏林大学医学部付属病院 宮崎 功 氏

15:20～16:20 パルスシーケンスおよび高速撮像法（パラレルイメージング）（専門試験問題含む）

講師：虎の門病院 高橋 順士 氏

16:30～17:30 アーチファクト（専門試験問題含む）

講師：公立福生病院 野中 孝志 氏

17:30～18:30 脂肪抑制（専門試験問題含む）

講師：東京慈恵会医科大学附属第三病院 北川 久 氏

記

日 時：平成29年1月14日（土）14:00～18:30（受付開始13時30分）

場 所：公益社団法人東京都放射線技師会研修センター

〒116-0013 東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505

ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

受 講 料：会員3,000円、非会員10,000円（当日徴収）

※講義に使用するテキストはMRI集中講習（改訂版）を使用（東放技配布）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込みフォーム（研修会申し込み先は“学術教育委員会”を選択）からお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定 員：50名（定員になり次第締め切ります）

カウント付与：日本診療放射線技師会生涯教育4.0カウント付与

問い合わせ：学術教育委員長 市川重司 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ

1

第11地区研修会 テーマ「MRI（再）入門」

今回、第11地区では脊椎MRIに関する研修会を開催致します。「脊椎MRI（再）入門」と題しまして、診療放射線技師が知りたい脊椎MRI検査に携わる際に必要な解剖、撮像方法、疾患などを実際の症例を交えた講義を通して皆様と一緒に勉強できる研修会を企画いたしました。

これからMRIに携わる方、MRI初心者の方、この機会に再度基本から復習したい方、多くの皆さまの参加をお待ちしております。

「脊椎MRI入門～基本的な解剖から撮像法と臨床例を交えて疾患の紹介～」

東邦大学医療センター大橋病院 放射線部

日本磁気共鳴専門技術者認定機構 上級磁気共鳴専門技術者 服部 尚史 氏

記

日 時：平成28年11月10日（木） 19時00分～20時30分（受付開始18時30分～）

場 所：東邦大学医療センター大橋病院 教育棟1F臨床講堂

交 通：東急田園都市線 池尻大橋駅下車 徒歩6分

：京王井の頭線 駒場東大前駅下車 徒歩10分

※詳細は東邦大学医療センター大橋病院HP

（<http://www.ohashi.med.toho-u.ac.jp/>）をご覧ください。

受 講 料：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

申込方法：area11@tart.jpのアドレスへ氏名・地区・勤務先をお知り

ください。もしくは、東放技ホームページ

（<http://www.tart.jp/>）の研修会申し込み、または会誌の

研修会等申込用紙にて事務所にFAXで申し込んでください。

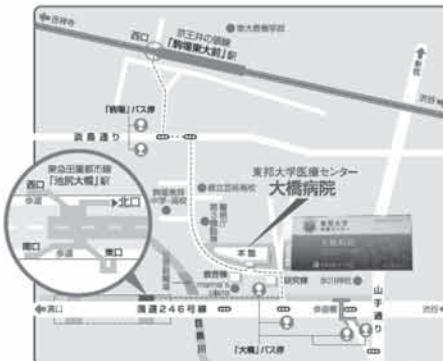
当日参加も歓迎いたします。

問い合わせ及び連絡先：

第11地区委員長 千葉利昭 E-Mail : area11@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務局 TEL・FAX : 03-3806-7724

以上



※新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

第3地区研修会

テーマ「ティーチングファイル －ここがポイント－」 私が出会った症例

講 師：「CT・MRIから陽子線治療の紹介」 国立がん研究センター東病院 熊谷大樹氏
 「外傷性血管損傷－IVRを中心－」 国立国際医療研究センター病院 若松和行氏
 「巨大脳動脈瘤－今の努力が幻に？－」 東京医科大学病院 松本 亘

今回は地区委員が出会った症例について講演をしていただきます。われわれ診療放射線技師が知りたい病態から撮影法・IVR・陽子線治療について3名の所属地区委員が講義を行います。

皆さまと一緒に勉強できる講習会にできればと考えています。この機会にぜひ多くの情報を収集していただければ幸いです。皆さまの参加をお待ちしています。

記

日 時：平成28年11月25日（金）19時00分～20時30分（18時30分受付開始）

場 所：東京医科大学病院 研究教育棟3階 第1講堂

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-7-1

ア ク セス：丸の内線西新宿駅より 徒歩約1分、JR新宿駅西口より 徒歩約11分

受 講 料：診療放射線技師500円

新卒かつ新入会員※、一般ならびに学生 無料

情報交換会：会費4,000円（予約の都合上、参加の有無をメールにて連絡ください）

申込方法：東放技ホームページ（<http://www.tart.jp/>）からの研修会申し込みフォーム（研修会申し込み先名は“第3地区”を選択）からお申込みください。

または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

問い合わせ：第3地区委員長 平瀬 繁男 E-Mail：area03@tart.jp

以上



※新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう

お知らせ 3

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページhttp://www.tart.jp/に各地区の表と地図が掲載されていますので、ぜひ活用ください。



トップページの
ここをクリック

東京都診療放射線技師会からのお知らせ

お知らせ

地区紹介ページ

厚生調査委員会
アンケート結果

2014年度
研修会ペッタ等の開催地

会員登録

入会のご案内

入会のご案内

東京都診療放射線技師会からのお知らせ

2014/10/17 【お知らせ】平成26年度「電離箱式サ...

2014/10/01 【お知らせ】地区紹介ページを更新しま...

2014/10/17 【研修会】第41回日暮里塾ワンコイン...

2014/10/06 【研修会】第4地区研修会（開催日12/4...

2014/10/06 【研修会】第1地区研修会（第2回）（1...

2014/10/06 【研修会】第3地区研修会（開催日11/2...

2014/10/06 【研修会】城南支部研修会（開催日11/...

2014/10/06 【研修会】第7地区研修会（第1回）（1...

2014/10/06 【研修会】第16地区研修会（TART・S...

2014/10/06 【研修会】第40回日暮里塾ワンコイン...

2014/10/06 【研修会】第13地区研修会第39回日暮...

2014/10/06 【研修会】第17回メディカルマネジメ...

2014/10/06 【研修会】第38回日暮里塾ワンコイン...

2014/09/06 【研修会】第6地区研修会（開催日10/3...

2014/09/06 【研修会】第53回きめこまかなる生涯教...

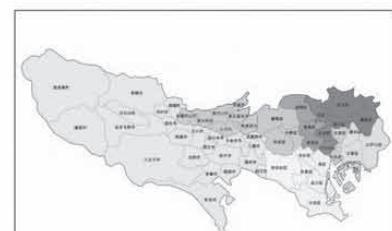
なお、毎月月替りで、各地区的特色や活動を紹介しています。
地区表の上の地区名からリンクしていますので、こちらもぜひご覧ください。

情報委員会



第1地区	第5地区	第9地区	第13地区
第2地区	第6地区	第10地区	第14地区
第3地区	第7地区	第11地区	第15地区
第4地区	第8地区	第12地区	第16地区

城東支部	第1地区	千代田区	
	第2地区	中央区	台東区
	第3地区	墨田区	江戸川区
	第4地区	千葉方面地区	千葉地域
城南支部	第4地区	港区	渋谷区
	第5地区	品川区	大田区
	第6地区	世田谷区	目黒区
	第7地区	神奈川方面地区	神奈川地域
城西支部	第8地区	新宿区	
	第9地区	板橋区	豊島区
	第10地区	練馬区	中野区
保健支会	第11地区	大蔵区	杉並区
	第12地区	足立区	荒川区
	第13地区	埼玉方面地区	埼玉地域
多摩支会	第14地区	西東京市	東久留米市
	第15地区	小平市	東大和市
	第16地区	武藏村山市	
	第17地区	上記、第1-12地区以外の多摩地域	



第67回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会(抄)

開催日：平成28年6月26日（日） 開催場所：日暮里サニーホール



石田総務委員長：ただ今より第67回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を開会致します。平成27年度物故会員および熊本大震災で被害に遭われた方々へ黙とうを捧げたいと存じます。皆さまご起立願います。黙とう。（一同黙祷）

ご着席ください。それでは、はじめに篠原健一会長よりご挨拶を申し上げます。

篠原会長：皆さまこんにちは、技師会の篠原です。本日は日曜日にもかかわらず、多くの方にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。心より感謝を申し上げます。また、ご来賓の皆さま方にも貴重なお時間を割いていただきまして感謝を申し上げます。本日は第67回定期総会ということで、平成27年度の事業報告と決算報告、平成28年度の事業計画と予算案をご審議いただくわけですが、またそれについては後程詳しくご説明を申し上げます。三つほどの方からお願いがございます。

まず一つ目は、昨年4月1日の法改正によります「業務範囲の拡大に伴う統一講習会」の件です。昨年度から始まっていますが、全国で約6,000名の方が受講済みとなっている状況です。本年度、日本診療放射線技師会では全国で10,000名の受講ということで実施計画を進めております。当然ながら、東京都診療放射線技師会は会員数約2,150名抱えておりますので、多くの方に受講していただきたい。それが一つ目のお願いです。

二つ目は、本年度に入りまして東京都診療放射線技師会ではフレッシャーズセミナーを2回開催致しましたが、それぞれ70名、合計140名の参加者がありました。ぜひ、受講者の皆さまに入会をしていただきたい。新卒の方だけではなく、多くの既卒の方にもですが同じであります。皆さまの職場や地域などでも、ぜひ入会をお勧めいただきたい。

三つ目は、報告を含めてですが、今回2年に一

度の役員改選が総会最後にございますけれども、じつは6月11日の日本診療放射線技師会総会でも役員改選がございまして、私は二期目の理事、南関東地域理事を拝命致しました。したがって、私自身も日本診療放射線技師会のさまざまな基本政策を推進していく立場です。細かくは是非あるかとは思いますが、その辺も含めて本日の役員改選で信任の可否を判断していただきたいと思います。これはわれわれの基本政策の中には、組織内候補を国政におくるといった事も当然含まれておりますので、そういうことも含めてご判断いただきたいと思います。

本日は、午前中の学術大会からご出席の方は大変お疲れかとは思いますが、この総会を活発なものにしていただきたくお願いを申し上げまして開会の挨拶とさせていただきます。本日はご参集いただきありがとうございます。

石田総務委員長：次にご来賓よりご祝辞を賜りたく存じます。公益社団法人日本診療放射線技師会会長の中澤靖夫様よりご祝辞を賜りたく存じます。中澤会長よろしくお願ひ致します。

中澤日放技会長：ただ今ご紹介に預かりました日本診療放射線技師会の中澤でございます。本日は第67回東京都診療放射線技師会の定期総会ならびに第14回ペイシエントケア



学術大会の開催を心からお喜び申し上げる次第でございます。私の方からは、三つほどお話しさせていただきたいと思っております。

第一は、先ほど篠原会長も述べておりましたが、「業務拡大に伴う統一講習会」をさらに推進していきましょうということでございます。平成26年6月18日に第186通常国会にて医療介護の一括法案が成立しております。この中に診療放射線技師法の改正も含まれており、翌年の平成27年の4月から「統一講習会」を実施していただいております。そして本年度は、総会にて10,000名の受講者をしっかりと47都道府県で実施しようとお願いをしました。毎年10,000名を4年間で40,000名行うわけですが、東京都は日本で一番会員数が多く先ほどのお話ですと約2,200名ですので、1回50名でおこなうとしますと40回。毎年10回以上は開催していただきたい、毎月開催して年12回やっていかないと全てを実施する事ができないのかと思います。これに関しては、東京都をはじめ47都道府県のすべての方々に大変ご苦労をお掛けするのは



わかっておりますけれど、ぜひ業務範囲拡大に伴う統一講習会をしっかりとおこなっていただきたい。そして、その後更なる業務拡大に向けて取り組んでいきたいと思っておりますので、東京都の皆さま方には大変ご苦労をお掛け致しますけれどもよろしくお願ひしたいと思っております。二つ目となります、私ども診療放射線技師の養成教育と臨床実習のあり方でございます。私どもは平成26年に文部科学省と厚生労働省に指定規則の見直しと臨床実習のあり方について要望書を提出しております。厚労省の方からは、平成27年に全国の養成所の協議会、そしてJARTの方と一緒に答申書を作成していただきたいとのことでしたので、昨年厚生労働省と打ち合わせをおこなって、国立関係から2名、私立大関係から2名、専門学校から2名の都合6名を選出していただき、そしてわれわれからは7名を出し計11名で委員会を5回ほど開催致しました。そして、現在進めているところでございます。臨床実習に関しましては、見学型から参加型の実習に変えていきたい。しかも、本会が認定する指導教員のもとでX線ばく射やポジショニングができる、参加型の実習に変えていきたいと思って進めていくところでございます。先週の金曜日に厚生労働省の方が私どもの会館にいらっしゃいまして、柔道整復師の指定規則が99単位に収まりそうだといったお話をきいております。私どもは平成27年に業務範囲の拡大に伴いまして99単位にしていただきたいということで厚生労働省の中で審議をしていただきましたけれども、診療放射線技師さんはそんなに勉強しなくてもいいという団体がございまして99単位から95単位まで抑えられたところでございます。しかしながら、平成12年からの指定規則が抜本的に改正されておりませんので、この辺でしっかりと抜本的な改正をしたく105単位を要望しているところでございます。なんとか各団体と打ち合わせをしながら、診療放射線技師の将来に向けて指定規則をしっかりと変えていきたいと思っているところでございます。

三つ目のお話でございますけれども、今私たち診療放射線技師の世界は大きな歴史の転換点に立っていると思っております。私日放技をお預かりして6年が経ちますけれども、この間厚生労働省、文部科学省、経済産業省、環境省とお付き合いをさせていただきさまざまな政策についての要望を折衝してきました。この6年間で技師法の一部改正、あるいは国家試験委員構成の副委員長を診療放射線技師にする事ができましたが、なかなかわれわれの要望を実現していくには開かずの扉が多くあります。遅々として進まないところもたくさんございます。行政との折衝は非常に難しい。なぜかといいますと医政局長はじめ医事課長は、だいたい2年ごとに代わるのです。そのたびごとにわれわれの政策を要望し説明して十分理解していただいているわけなんですけども、なかなか行政での改正というのは難しい。これはやはりブレイクスルーしていくには立法府にわれわれの代表を送り届けていく必要があるかと思っております。

私どもの前理ことありました畠元将吾が国政に向けて北は北海道から南は九州まで一生懸命自分の政策を訴えて支持者を増やしているところですけれども、ぜひわれわれ診療放射線技師の代表でありますので皆さまにおかれましてもご理解とご支援をいただけたらと思います。本日参加いただきました皆さまには、できましたら奥様、旦那様、ご両親とご家族のご理解をいただきみんなの力でなんとか畠元将吾を国政におくりだしていただきたい。ある意味では大きなチャンスでございます。われわれの力で大きな歴史的な成果を勝ち得る可能性があります。ぜひ皆さま方にこの辺をご理解いただき一緒に山を動かしていただけたらと思います。

最後になりましたけども東京都診療放射線技師会の益々のご発展と本日ご列席の皆さまのご健勝をご祈念させていただきましてお祝いの言葉とさせていただきます。本日はご参列をいただきありがとうございます。



石田総務委員長

石田総務委員長：日本診療放射線技師会中澤会長様ありがとうございました。続きまして、公益社団法人日本放射線技術学会東京支部副支部長多賀谷靖様より

ご祝辞を賜りたく存じます。

多賀谷副支部長：ただ今ご紹介にいただきました、日本放射線技術学会東京支部副支部長の多賀谷でございます。本来ならば東京支部長の飯田よりご挨拶を行うべきですが、他の会議と重なり代わりに私が出席する運びとなりました。本日はお招きいただき誠にありがとうございます。篠原会長をはじめ関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。東京支部会員を代表致しまして一言ご挨拶を申し上げます。第14回ペイシエントケア学術大会、公益社団法人東京都診療放射線技師会第67回定期総会の開催が斯くも盛大に執り行われます事を心よりお喜び申し上げます。私ども東京支部の事業運営に関しましては東京都診療放射線技師会会員の皆さま方には平素よりご指導ご支援賜っております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

先月5月21～22日に開催されました第70回春期学術大会におかれましては白木副会長にご列席いただくとともに、たくさんの方々にご参加いただきまして誠にありがとうございました。あらためまして御礼申し上げます。両会が共同事業で行っております合同学術講演会がありますが16年続



多賀谷東京副支部長

けて第16回を迎えております。昨年までは、運営を技師会間で1年ごとに持ち回りで行っておりましたが本年度より企画からの運営までを双方から委員を出し

合い共同で行うように形式を変更致しました。本年度は10月8日に立川市にあります災害医療センターにおいて、「災害医療に対する診療放射技師の役割」というテーマで講演を行う事を決めております。こちらの事業に関しても多数のご参加をお願いしたいと思います。また、篠原会長の発案で、東京都診療放射線技師会と日本放射線技術学会東京支部の役員達が集まり新春座談会を行いました。テーマは診療放射線技師に対する教育の在り方や、連携について意見交換致しました。このように今後とも両会が連携を取り合い診療放射線技師の社会的な位置づけなどを向上するためにもお互いが共同して行動をとれるようにしていきたいと思っております。今後ともいろいろな面で、東京都診療放射線技師会と日本放射線技術学会東京支部がともに活躍する場面があると思います。そのためには、両会が益々元気である事が求められると思います。どうぞ私たちの事業運営にもご指導ご支援をお願い致します。

最後になりますが東京都診療放射線技師会の益々のご発展とここにご列席いただきました会員の皆さま方がご健康でさらにご活躍されますようにご祈念申し上げます。甚だ簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。本日は誠におめでとうございます。

石田総務委員長：日本放射線技術学会東京支部 多賀谷副支部長様ありがとうございました。本日は医療関連職能団体の皆さまからご祝電を戴しておりますので紹介させていただきます。公益社団法人東京都診療放射線技師会第67回定期総会の開催を祝し心よりお喜び申し上げます。貴会および会員の皆さまには日頃より本会事業に対するご理解ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。貴会の益々のご発展と本日の総会を祈念致します。公益社団法人東京都看護協会会长 山元恵子。ありがとうございました。次に総会議事に先立ち表彰を執り行います。平成27年度における小野賞、功労賞（勤続20年表彰）、学術奨励賞、新人奨励賞の表彰および感謝状の贈呈を執り行います。それではよろしくお願い致します。写真：高野涉外委員長



高野涉外委員長

高野涉外委員長：それでは本会表彰規定により平成27年度表彰を行います。表彰規定第2条第5項により小野賞の表彰を行います。小野賞は多年にわたり技師会活動ならびに地域医療に貢献された方々を対象に各委員会からの推薦を受け理事会の承認をうけた方々に贈られます。それでは本年度小野賞受賞の10名の皆さまを紹介致します。名前を呼ばれた方はその場にお立ください。第1地区 浅香崇夫さん、第4地区 後藤太作さん、第5地区 稲毛秀一さん、第6地区 高橋克行さん、第11地区 飯塚康彦さん、第12地区 坂知靖さん、総務委員会 雨宮広明さん、庶務委員会 浅沼芳昭さん、学術教育委員会 黒澤昭典さん、涉

外委員会 西岡尚美さん、以上10名を代表して後藤太作さん壇上にお願い致します。

篠原会長：表彰状、小野賞、後藤太作殿あなたは多年にわたり地区活動ならびに地域医療に貢献された功績は誠に顕著でありその功績は小野賞に値します。ここに第67回定期総会において表彰致します。平成28年 6月26日 公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。どうもありがとうございました。



小野賞 後藤会員

高野涉外委員長：ご着席ください。続きまして表彰規定第2条第2項により功労賞（勤続20年表彰）の方々を紹介致します。大澤史佳さん、秋山忍さん、砂塚亘さん、後藤太作さん、池内忠義さん、望さん、成澤亮祐さん、北山貴章さん、沖田和之さん、有山利弘さん、小西智誠さん、山本考二さん、川田裕輔さん、大渕真由美さん、鈴木智子さん、以上の方々を代表して沖田和之さん壇上にお願い致します。

篠原会長：表彰状、沖田和之殿。あなたは20年以上にわたり診療放射線業務に精励され技師会に貢献された功績は誠に顕著であります。ここに第67回定期総会において表彰致します。平成28年6月26日 公益社団法人東京都放射線技師会会长 篠原健一。どうもありがとうございます。



功労賞 沖田会員

高野涉外委員長：続いて学術奨励賞、新人奨励賞の表彰です。学術教育委員長の市川理事に代わります。

市川学術教育委員長：学術教育からご報告申し上げます。学術奨励賞ならびに新人奨励賞ですが、昨年度6月に千葉県でおこなわれました関東甲信越診療放射線技師学術大会および、11月に京都おこなわれました日本診療放射線技師会学術大会の方からノミネートされた10演題を平成28年2月におこなわれた第53回日暮里塾ワンコインセミナーで再



新人奨励賞 土屋会員

度ご発表いただきまして、その中から選びました。まず新人奨励賞です。演題名「胸骨2方向撮影の一考察」、発表者 土谷健人さん、施設名 公立福生病院。それでは壇上へお上がりください。写真：新人奨励賞 土屋会員

篠原会長：賞状、新人奨励賞。公立福生病院、土谷健人殿。平成27年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「胸骨2方向撮影の一考察」は極めて優秀と認められました。よって第67回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成28年6月26日 公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。おめでとうございます。

市川学術教育委員長：引き続きまして、演題名「CT検査における造影剤副作用発生時の環境因子について」、発表者 小平彩加さん、施設名 昭和大学横浜市北部病院、壇上へお願い致します。



新人奨励賞 小平会員

篠原会長：賞状、新人奨励賞。昭和大学横浜市北部病院、小平彩加殿。平成27年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「CT検査における造影剤副作用発生時の環境因子について」は極めて優秀と認められました。よって第67回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成28年6月26日 公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。おめでとうございます。

市川学術教育委員長：本年度は新人奨励賞もう1名おります。演題名「栄養補助食品によるMRI画像への影響」、発表者 山田美彩子さん、施設名東京通信病院、壇上へお願い致します。

篠原会長：賞状、新人奨励賞。東京通信病院、山田美彩子殿。平成27年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「栄養補助食品によるMRI画像への影響」は極



新人奨励賞 山田会員

めて優秀と認められました。よって第67回定期総会において新人奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成28年6月26日 公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。おめでとうございます。

市川学術教育委員長：皆さまおめでとうございます。では、続きまして平成27年度学術奨励賞の方に移りたいと思います。演題名「Exposure Indexを利用したX線撮影条件の最適化の方法」、発表者 竹安直行さん、施設名 日本赤十字社医療センター。壇上へお願い致します。



学術奨励賞 竹安会員

篠原会長：賞状、学術奨励賞、日本赤十字社医療センター、竹安直行殿。平成27年度の放射線画像技術に関する研究発表の中で貴殿の「Exposure Indexを利用したX線撮影条件の最適化の方法」は極めて優秀と認められました。よって第67回定期総会において学術奨励賞を贈り、不断のご努力に敬意を表します。平成28年6月26日 公益社団法人東京都診療放射線技師会会长 篠原健一。おめでとうございます。

市川学術教育委員長：おめでとうございます。学術教育委員会からは以上となります。写真：市川学術教育委員長 石田総務委員長：受賞者の皆さまおめでとうございます。なお、受賞者の皆さまは記念撮影を本会場にて行いますので、総会終了後は御着席のまましばらくお待ちいただけますようお願い申し上げます。総会議事に移ります前に、ご来賓の方々がご退席致します。ご来賓の皆さま方には、ご多用にもかかわらずご出席を賜り、誠にありがとうございます。貴会皆さま方のますますのご発展を祈



市川学術教育委員長

念申し上げます。皆さま拍手でお送り願います。中澤様は、本会顧問でもありますのでそのままご着席でお願い致します。それでは本総会の資格審査委員並びに総会運営委員をご紹介致します。資格審査委員並びに総会運営委員は総会運営規定により各地区から選出されております。資格審査委員として、芦田哲也さん、石川徹さん、宇賀神哲也さん、大貫弘二さん、沖田和之さん、鮎川幸司さん、藤村耕平さん、松井幹さん、三富明さん、渡部史也さん以上10名、資格審査委員長は藤村耕平さんです。よろしくお願いします。次に総会運営委員として、飯田康彦さん、甲斐麻記子さん、片岡剛さん、高林正人さん、曾根辰徳さん以上5名、総会運営委員長は片岡剛さんです。よろしくお願いします。それでは、資格審査委員会報告を藤村耕平委員長よりお願いします。



藤村資格審査委員長

藤村資格審査委員長：
資格審査委員会よりご報告申し上げます。平成28年6月2日、理事会承認時の正会員数は2,176名です。総会成立会員数は本会定款17条、

第1項の規定により1/2以上の出席者数1,088名以上であります。現時点での会員出席状況をご説明致します。総会出席者数142名、書面表決数606名、委任状410名、合計1,158名。従いまして、この第67回総会は成立する事をご報告致します。資格審査委員長 藤村耕平。

石田総務委員長：それでは、本総会の議長団を選出したいと存じます。会場より、立候補の方、いらっしゃいますか。それでは、立候補された方は壇上の方へおいでください。それでは議長団よろしくお願い致します。

森議長：第13地区の森美加です。



名古議長：第11地区的名古安伸です。不慣れではございますが皆さまのご協力をお願い致します。

森議長：これより審議してまいります。第1号議案・平成27年度事業報告案、第2号議案・平成27年度決算報告案を私、森が、第3号議案・平成28年度事業計画案、第4号議案・平成28年度予算書案を名古議長が担当致します。皆さまのご協力をいただき、議事を進めてまいりたいと存じます。どうぞ宜しくお願い致します。はじめに、議事に入ります前に、総会職員の任命についてお諮り致します。総会職員については、総会準備委員名簿がすでに総会資料に掲載されておりますが、この場であらためて議長団よりご指名し、皆さまの拍手をもって、承認を得たいと存じます。異議ございませんでしょうか。異議がないようですので、指名をさせていただきます。

ます。はじめに、書記・写真・記録係として内藤哲也さん、岩井譜憲さん、柴山豊喜さん、高橋克行さん、田沼征一さん以上5名の方々です。続いて、会場係として松田紗代子さん、浅沼芳明さん、以上2名の方々です。次に採決係として岡部圭吾さん、高瀬正さん、長谷川雅一さん、雨宮広明さん、河内康志さん、吉井伸之さん、以上6名の方々です。最後に本日の議事録署名人は議長の森美加、名古安伸および全出席理事となります。それでは以上の総会職員について、拍手をもってご承認願います。ありがとうございました。次に、総会の運営について総会運営委員会報告を、片岡剛委員長よりお願いします。

片岡総会運営委員長：

総会運営委員会よりご報告申し上げます。ただ今の時刻は16時18分です。これより、第1号議案・平成27年度事業報告案、第2号議案・平成27年度決算報告案、第3号議案・平成28年度事業計画案、第4号議案・平成28年度予算案、以上、第1号議案から第4号議案までを17時00分までにご審議願います。会員の皆さま方の活発なるご意見とご協力をお願い致します。総会運営委員長 片岡剛。



片岡総会運営委員長

森議長：ただ今の報告について、異議はございませんでしょうか。異議が無いようですので、報告の通り議事を進めさせていただきます。つづきまして議事の進め方についてお諮り致します。議案ごとに審議し、採決を行いたいと存じます。なお、採決の方法は、反対、保留、賛成の順で挙手をもって行いたいと存じますが、異議ございませんでしょうか。異議がないようですので、議事に入ります。第1号議案平成27年度事業報告を議題と致します。それでは執行部より報告願います。

篠原会長：第1号議案平成27年度事業報告につきまして、総括を読ませていただきます。

平成27年度は「戦後70年」「エックス線発見120周年」「診療放射線技師法改正」など、日本にとてもわれわれの職能において多くの節目があった。さまざまなニュースが流れた中で、ノーベル生理学・医学賞を大村智氏が、翌日には物理学賞を梶田隆章氏が受賞し、2年連続しかも2日連続の快挙に、日本人として大きな誇りとよろこびであり、希望を感じたできごとであった。大村氏の受賞について安倍晋三首相は「研究がなければ亡くなつたかもしれない何億人の命が救われた。日本人として誇りに思う」とのべた。大村氏も「研究者になってからも、どうしたら世の中のため人のためになるかなと考えてきた」と語った。その信念の根底には、子供のころ祖母からくりかえし教えられた「人のためになる事を考えなさい」であったという。公益社団法人としての姿勢、心構えにも通ずる信念である。なお、ニュースは喜ばしいものばかりではない。昨年は5月と11月



篠原会長

に、われわれ診療放射線技師が携わる業務において、大変に痛ましいことであるが受診者・患者が死亡するという事故が起きた。原因の究明とともに再発

防止について、職能全体の問題として取り組まなければならない。あらためて、心からのご冥福をお祈り申し上げる。
写真：篠原会長2昨年4月の診療放射線技師法改正による「業務範囲拡大に伴う統一講習会」を本会では全国に先駆け、7月18日（土）～19日（日）に第1回を開催した。多くの会員・役員の努力により本会だけでも6回開催する事ができた。ファントムを使った実習を伴うため一回の実施人数が最大60人程度、また過去に「静脈注射後の抜針・止血」講習会受講生である事の制約があり、講習会修了者はまだ250名ほどである。それでも単純に本会会員数に対する比率でいえば約8人に1人が受講した事になる。平成28年度は、日本診療放射線技師会全体で1万人規模での実施を計画しているが、全国の会員数の約1/3を占める関東甲信越地域、とりわけ東京都診療放射線技師会の果たす役割は大きいと感じている。8月にシンガポールで開催された20th AACRT (Asia Australasia Conference of Radiological Technologists)において、4年後（2019年）の開催地に日本が立候補するため、中澤日本診療放射線技師会会长に同行し開催都市候補として会議に出席した。オーストラリアとの決選投票となり結果は8対8。異例の抽選となり、議長指名によりミャンマー代表が籤を引き2019年のAACRTはオーストラリアに決定。日本は2021年の開催となった。日本での国際大会は少し先延ばしとなったが、この時の経験により、東アジアからオーストラリア・ニュージーランドの人々との交流、とりわけアジアの新興国や近隣の首都（ソウルなど）との交流の必要性を感じた。2020年の東京オリンピック・パラリンピックも踏まえ、首都東京の職能団体として取り組むべき課題があるはずである。われわれ診療放射線技師は国民の皆さんの信頼に応え、医療安全の確保、医療および公衆衛生の向上に寄与すべく、さまざまな方策を展開しなければならない。安心・安全そして納得できる医療技術の提供を求められている。常に最先端の医療技術を学び、Evidence（最善の根拠）と専門性と患者の価値観の統合に基づいた医療技術=EBMを提供する必要がある。昨年度も、各種認定技師・専門技師の育成を関連団体と連携しながら推進し、本部または各支部・地区主催の各種講演会、セミナー、勉強会を開催した。スローガンである「チーム医療を推進し、国民および世界に貢献する診療放射線技師の育成」についても、日本診療放射線技師会と連携して取り組んできた。今回の業務拡大の結果が国民医療のためによかつたのか、チーム医療推進に寄与したのか検証が行われている。それがさらなる

業務拡大につながる結果でなければならない。本会事業・活動の推進に対し、多大なご理解をいただいた事に感謝申し上げるとともに、新年度も今まで以上に都民・国民・会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆さま方のより一層のご支援とご協力をお願いする次第である。以上、総括を読ませていただきましたが、事業報告以降は総会資料をお読みいただきご審議いただきたいと思います。よろしくお願い致します。

森議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。また、所属地区、氏名を述べてから、発言願います。質問に対しては執行部より回答致します。

河手会員：第14地区の河手と申します。毎回質問させていただきありがとうございます。今回は会員動向についてお聞きしたいです。資料では、滞納退会者が55名となっておりますが、活動報告の会員数には含まれてはいない様なのですが、どういった扱いなのでしょうか。

野口庶務委員長：申し訳ありません。滞納退会者が55名を退会者数へ加えていませんので修正させていただきます。

河手会員：定款によりますと、未納が2年となると退会処分となります。時期はいつになるのでしょうか。



河手会員

野口庶務委員長：本來ですと3月31日で退会となります。できる事ならば退会していただきたくないでの、ご連絡していただいて留まるお願いしていますと期日通りとはいかないのが現状です。

河手会員：それでは滞納退会者は実際この55名より少ないとということでしょうか。

野口庶務委員長：いえ、そちらは平成27年度に退会処理したものですので間違いはありません。

河手会員：では、数はこちらの資料でっているということですね。

野口庶務委員長：はい。ご指摘いただきました会員動向数を除けば間違いはありません。今後会誌にて修正させていただきます。

河手会員：ありがとうございます。こういった退会する方が考え直すような働きかけはおこなっているのでしょうか。

野口庶務委員長：滞納の方には、再請求、再々請求とおこなっております。それでも難しいようでしたら理事会などにあげるなどいろいろなアプローチはしております。

河手会員：ありがとうございます。執行部に



野口庶務委員長

お聞きしますが、地区委員会などでたびたび話題に上るのですが、新卒者、新入会者などの若手には率先して活動しているのはわかりますが、中間管理職、技師長クラスの方々の技師会離れがあると思うのですがどのようにお考えでしょうか。

篠原会長：いろいろな分析をして行く中で、確かに施設単位で考えると所属長クラスの方が入会していないとスタッフの方々も入っていない傾向が強いので、技師長の集まりなど計画していくと考えています。

河手会員：よろしくお願ひします。ありがとうございました。

森議長：他にございませんか。無ければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成27年度事業報告は原案の通り承認されました。それでは第2号議案の平成27年度決算報告を議題と致します。執行部より報告願います。



会場

関経理委員長：これより平成27年度の決算報告をさせていただきます。会誌5月号の39ページから47ページが第2号議案の決算報告となっております。まず、39ページの貸借対照表よりご説明致します。これは法人の3月31日現在の財産状況を示しており、資産合計と負債および正味財産の合計とが一致しております。事前に資料を配布しておりますので特徴的なものについて説明し金額については端数の読み上げを省略させていただきます。流動資産の現金預金でありますが、当年度は前年度に比較して138万円ほど増加しております。これは役員、会員の皆さまが節約志向で事業を推進したためと思われます。次に固定資産の特定資産に計上している建物と土地ですが建物部分について前年度より67万円ほど減少しております。これは事務所の取得金額から経年的に減価償却されたものであります。建物附属設備、什器備品についても同様に減価償却されております。次に負債の部になります。まず、預り金については3月までに源泉税を徴収したもので収益ではなく負債として計上しておりますが、4月以降に支払うものであります。長期借入金は、新事務所取得のためのもので返済により222万円の減少となっております。以上により当年度末の資産は8,230万円となっております。次に40ページ、41ページに正

味財産増減計算書を示しております。またその内訳表を42ページ、43ページに示しております。内訳表の右側には参考のために予算との差異を掲載しました。



以下、主に内訳表で予算との差異がある箇所について説明させていただきます。受取会費は2,305万円となり。賛助会員会費77,000円を合わせたものであります。賛助会員については定款が改正され正会員に編入されたため僅かな収益となっております。次に研修会事業収益は多くの皆さまの参加のご協力もあり予算比で50万円の増収となりました。親睦会事業収益についてはボウリング大会や新春の集いになりますが、こちらも多くの皆さまのご参加により33万円の増収となりました。これらは毎年参加人数によって影響を受けるところであります。

次に経常費用に移りますが事業費と管理費に大きく分かれています。事業費は技師会の事業活動を推進するために使うもので、管理費は事務所運営や法人全般の管理に使う費用となります。予算との対比でわかる通り全体的には節約志向で活動しており減少しているところが多く見られます。事業費から特徴のあるところを説明しますと、多く支出しているところは福利厚生費であります。これは行政からの指導により事務職員が年金に加入したためその事業者負担分となります。次に通信運搬費でありますが、会員増加による通信費の増加によるものであります。広報関連費は公益活動を推進する上での各地の行政祭りへの参加、配布物の制作、ホームページの運営関連となって活発に活動された成果となっております。そのほかは例年通りの実績となっております。43ページの管理費についても同様の傾向となっております。以上のような内容により最終的に経常収益は2,750万円、経常費用が2,500万円となって当期の経常増減額は2,569,000円となります。ただしこの金額には減価償却費分が含まれており、これは計上されておりますが購入した時に支払っているもので実際には現金預金の流出を伴わない費用です。したがいまして実態としては事業の損益はかなりの節約となっております。以上で決算報告と致します。ご承認よろしくお願ひ致します。

森議長：それではつづいて平成27年度監査報告を監事よりお願いします。

乙井監事、野田監事：監事の乙井です。社外監事の野田です。それでは監査報告をさせていただきます。私たち監事は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法および結果について、次のとおり報告します。監査の方法およびその内容。各監事は、理事および使用人等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事および使用人等からその職務の執行状



況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査しました。

以上の方に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表および正味財産増減計算書）およびその附属明細書並びに財産目録について検討しました。監査意見。事業報告等の監査結果。事業報告は、法令および定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。理事の職務の執行に関する不正の行ため又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。計算書類およびその附属明細書並びに財産目録の監査結果計算書類およびその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産および損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。以上、監査報告です。

森議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。無ければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成27年度決算報告は原案の通り承認されました。



名古議長：それでは第3号議案の平成28年度事業計画を議題と致します。執行部より説明願います。

篠原会長：第3号議案の平成28年度事業計画の

総括を読ませていただきます。2016年は伊勢志摩サミット、参院選、ブラジルでリオデジャネイロ五輪／パラリンピック開催、米国大統領選挙など国内外の動きが大きい年である。また、ロシアとウクライナの紛争やトルコとの緊張、南シナ海における中国と東南アジア諸国との摩擦、過激派組織「イスラム国」をはじめとしたテロ問題、多くの難民を生んだシリア内戦、中東諸国の分裂なども出口が見えないままとなっている。昨年は「エックス線発見120周年」や「戦後70年」などいくつかの大きな節目を迎えた。安全保障関連法案の可決や環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）の大筋合意など、世界の中の日本を考える転換点でもあった。その事象の良し悪しに問わらず、積み重ねた歴史を振り返ったり区切りを付けたりする事は重要である。同時に、未来のためにいま何をしておくかといった、積み重ねの準備も必要である。安倍晋三首相は、本年の年頭所感の中で「困難は、もとより覚悟の上です。しかし“未来”は、他人から与えられるものではありません。私たちが自らの手

で、切り拓いていくべきものであります。そのスタートを切る本年は、挑戦、挑戦、そして、挑戦あるのみ。未来へと、果敢に“挑戦する一年”とする。その決意であります。」と述べた。三年後の2019年は関東甲信越診療放射線技師学術大会の開催当番であり、四年後の2020年は東京五輪／パラリンピックそして本会創立70周年を迎える。オリンピック開催都市の職能団体として果たすべき役割もあるはずである。三年後、四年後のために挑戦する事の多くが始まる年である。私たちは歴史から学びながら、将来・未来のあるべき姿から現在に投影された診療放射線技師・職能団体としての社会的責任を果たさなければならない。診療放射線技師の将来像を語り、具体的に描けるような組織でありたい。

昨年度から始まった「業務拡大に伴う統一講習会」も、少しづつではあるが修了者が増えている。それぞの所属や身分にかかわらず、職能や医療界全体に关心が向くような事業展開が求められている。検像や読影の補助、いわゆる一次読影の定義や質の担保、更なる業務範囲の拡大や疑義照会などの導入も視野に入れなければならない。60年以上前にできた診療放射線技師法が時代にそぐわなくなっている。現在の高度な医療現場や他職種連携によるチーム医療の実践、診療放射線技師の有効な活用のためにも抜本的な改正が必要である。また、職能に誇りと責任と自覚を持てなければ、人を愛し患者さんに寄り添う事はできない。それには資質、能力アップのための教育の確保が必要であり、診療放射線技師教育の四年制大学化と教育内容の見直しも重要課題である。われわれは国民の信頼にこたえ、医療安全の確保、医療および公衆衛生の向上に寄与すべく「チーム医療を推進し、国民および世界に貢献する診療放射線技師の育成」をスローガンとして各種事業を展開していく。そして、高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するとともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならない。広告のできる認定技師制度、領域別読影専門技師の育成、業務の診療報酬への反映、関連法令の改訂など、政策立案が必要であり、診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定・業務範囲の拡大に伴う研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存である。また、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入していく公益事業も引き続き推進する。災害対応への意識を風化させないために、防災・減災・緊急被ばく医療・BCP（事業継続計画）などもSR推進委員会を中心に活動していく。会員諸氏のより一層のご支援と





ご協力をお願いする次第である。以下、定款に基づく本会の事業に関しましては資料の通りですので審議よろしくお願い致します。

名古議長：これより質

疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。

松坂会員：第14地区の松坂と申します。今手にしている会誌の内容の件です。現時点では会告が多くて、たとえば来月のボウリング大会などの催しが一切載っていないのです。一般の会員はこの会誌だけが情報源の方もいらっしゃると思います。これにつきまして、公益社団法人であるが故、都の指導などでの事なのかどうかお伺いしたいです。

篠原会長：ご指摘の通り会員が見る会誌ですから、全ての情報を掲載したいのはやまやまなのですが、松坂さんの仰る通り東京都の指導や国会図書館などにも寄贈する事もあり、会員の共益的事業は基本的には載せない事としておりました。皆さんにいろいろな情報が行きわたる様にホームページなども含めて、再度検討をおこなっていきたいと思います。



松坂会員：一つの案なのですが、この会誌に福利厚生コーナーを設けなど、なんとか承認を得る事はできないでしょうか。現状ですと、会のための会誌なのか会員のための会誌なのか迷うといった印象を受けます。一般の会員にもはっきりさせていただけたらと思います。

篠原会長：貴重なご意見ありがとうございます。今後更に検討をして行きたいと思います。

名古議長：他にございませんか。無ければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。賛成多数、よって、平成28年度事業計画は原案の通り承認されました。

名古議長：それでは第4号議案の平成28年度予算書を議題と致します。執行部より説明願います。



関経理委員長：これより平成28年度予算書をご提案させていただきます。会誌5月号の59ページから60ページが第4号議案の平成28年度予算書となっております。ま



ず一番上の行を横に見ていただくと公益目的事業会計、収益事業等会計、法人会計に分かれており、その合計が右から3番目の予算合計になります。その右側に参考として前期予算との差異を掲載しました。この3列を見ていただけます。事前に資料を配布しておりますので特徴的なものを説明し、金額については端数の読み上げを省略させていただきます。

まず59ページの経常増減の部、経常収益で本会の収入を示しております。受取会費ですが、会員は約2,100名ということで正会員と賛助会員で合わせて約2,095万円を計上しております。定款が改正されまして賛助会員から正会員へ移行されたため正会員の割合が多くなっており賛助会員は法人会員のみと現在はなっております。その他の事業収益、受取寄付金、雑収益については前年実績を参考に計上しておりますので同額となっております。次に59ページ下半分と60ページにかけての経常費用つまり支出についてご説明します。印刷製本費についてはやや会員が増加しておりますので、会誌発行の増加と研修会参加者の増加がありその資料作成が増えてやや増額しております。その他の項目は前期予算との対比で分かる通り、昨年度とほぼ同額または減額となっており、今までどおりの節約志向での活動を目指しております。前年実績をもとに計上しておりますが活発に公益活動を実施する事と研修事業の充実を目指すということでやや予算を増額した部分もございます。以上、最終的に経常収益を2,618万円、経常費用も2,618万円となり、当期経常増減額を0円となります。ご審議をよろしくお願い致します。

名古議長：これより質疑に入ります。恐れ入りますが、発言者の方はスタンドマイクまでお願い致します。



河手会員：第14地区の河手です。たびたびすみません。会計予算のことでお伺いします。予算合計が前年と比べて減っているように見受けられますがご説明お願いします。

関経理委員長：予算ですのであまり収入を多く見積もってしまいますと経常費用の方で不足する場合がございますので、前年度よりもやや減額しております。これは会費の収入によって左右されますのでこのように致しました。

河手会員：会員は増加しているので減らす必要があるので

しょうか。

関経理委員長：全会員から満額入るとは限りませんので、会員数の約90%を予算として今期は計上しております。

河手会員：わかりました。ありがとうございました。

名古議長：他にございませんか。無ければ質疑を終わり、本件について採決を行います。採決係のみなさん準備願います。反対の方、挙手願います。保留の方、挙手願います。賛成の方、挙手願います。保留1名、賛成多数によって、平成28年度予算書は原案の通り承認されました。

以上をもちまして第67回定期総会の議事を終了させていただきます。ただ今をもって議長団を解任させていただきます。皆さまのご協力に感謝申し上げます。



石田総務委員長：森議長、名古議長ありがとうございました。滞りなく審議を終了し、改めて感謝申し上げます。引き続きまして平成28年度・29年度の役員選出を行います。選挙管理委員会の皆さまは本会役員選出規程に基づき選出されております。お名前をご紹介致します。城東支部栗屋浩介さん、城西支部比内聖紀さん、城南支部北岡勇人さん、城北支部関良充さん、多摩支部篠田浩さん以上5名です。選挙管理委員長は、城東支部選出の栗屋浩介さんです。それでは、栗屋委員長、選出の進行をお願い致します。

栗屋選挙管理委員長：ただ今より定款第20条、21条に基づいて平成28年・29年度の公益社団法人東京都診療放射線技師会役員選出を本総会にて行います。それでは、選挙管理委員会より役員選出規程第3条の資格を有する役員候補者をご紹介致します。理事候補 篠原健一さん、尚、篠原さんは、会長候補者として表明しております。同じく、理事候補として浅沼雅康さん、安宅里美さん、石田秀樹さん、市川篤志さん、市川重司さん、江田哲男さん、高橋克行さん、工藤年男さん、齊藤謙一さん、崎浜秀幸さん、白木尚さん、鈴木雄一さん、関真一さん、高野修彰さん、竹安直行さん、長谷川雅一さん、原子満さん、平瀬繁男さん、野口幸作さん、監事候補（立候補）葛西一隆さん、監事候補（監督官庁の指導による理事会推薦外部理事）野田扇三郎さん、以上、理事20名、監事2名、



であります。理事、監事は定数の範囲内であります。従いまして、役員選出規程第9条・4項に基づき、役員候補は無投票当選と致します。しかし、篠原健一さんの会長候補者の表明ございますので、本日この会場にお集まりの会員の皆さまの信任投票を行いたいと思います。なお信任の方法は、皆さまの挙手により執り行いたいと思います。選挙管理委員の皆さま、よろしくお願ひします。それでは、平成28年・29年度会長候補として篠原健一さんを信任される方挙手をお願い致します。集計を行いますので、申し訳ありませんが暫くそのままの体制でお待ちください。ありがとうございました。不信任の方、挙手をお願い致します。ありがとうございました。では、集計結果ですが、信任：142名、不信任：0名です。選挙管理委員会は篠原健一さんが平成28年・29年度会長候補者として信任された事をご報告致します。以上で平成28年・29年度の役員選出を終わります。ご協力ありがとうございました。

写真：栗屋選挙管理委員長

石田総務委員長：選挙管理委員の皆さまありがとうございました。それでは、平成28・29年度の役員を代表致しまして、篠原会長候補よりご挨拶をお願いします。

篠原会長候補：皆さまご信任をいただきましてありがとうございます。この負託にこたえてしっかりとやっていきたいと思っております。思い返せば、中澤会長から引き継いで2011年4月1日に就任といった直前に東日本大震災が起きました。そして、本年は直前に熊本の大震災が起きました。これは、被災地の皆さんの頑張りに負けないようにしっかりとやれよという気合いでもあるかなと思っております。この2年間も皆さまのご協力をいただき、また先ほどよりいろいろ貴重なご意見もいただきまして、そして総会だけではなくいろいろな場面でご意見をいただきて、日本診療放射線技師会と共にわれわれ診療放射線技師としてのさまざまな政策を実現して参りたいと思いますので、ぜひともご協力をお願い致します。

石田総務委員長：以上をもちまして、第67回公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会を終了させていただきます。



平成27年度
功労賞(勤続20年表彰)・小野賞 受賞者

【功労賞(勤続20年表彰)】

第2地区	大澤 史佳	中央みなとクリニック
第2地区	秋山 忍	聖路加国際病院
第2地区	砂塚 亘	聖路加国際病院
第4地区	後藤 太作	J R 東京総合病院
第5地区	池内 忠義	池袋病院
第5地区	濱崎 望	順天堂大学医学部附属順天堂医院
第6地区	成澤 亮祐	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター
第7地区	北山 貴章	東京城東病院
第9地区	沖田 和之	日本大学医学部附属板橋病院
第9地区	有山 利弘	板橋中央総合病院
第10地区	小西 智誠	株式会社パラメディカル
第13地区	山本 考二	南町田病院
第13地区	川田 裕輔	医療法人社団生光会
第13地区	大渕真由美	立川相互ふれあいクリニック
第13地区	鈴木 智子	永生病院

【小野賞】

総務委員会	雨宮 広明	関野病院
庶務委員会	浅沼 芳昭	板橋中央総合病院
涉外委員会	西岡 尚美	東京通信病院
学術教育委員会	黒澤 昭典	和歌山ろうさい病院
第1地区	浅香 崇夫	東京通信病院
第4地区	後藤 太作	JR東京総合病院
第5地区	稻毛 秀一	順天堂大学医学部附属順天堂医院
第6地区	高橋 克行	足立共済病院
第11地区	飯塚 康彦	東京明日佳病院
第12地区	高坂 知靖	佐々総合病院



功労賞(勤続20年表彰)



小野賞

お詫びと訂正

「東京放射線」2016年5月号の「第67回定期総会資料 庶務概要」に間違いがありましたので、紙面にて訂正させていただきます。

2016年5月号 34ページ

IV 活動報告(庶務概要)

1. 平成27年度会員数 平成27年度末

(誤)

	会員数	増	減	差引
正会員	2088	184	<u>136</u>	<u>48</u>

(正)

	会員数	増	減	差引
正会員	2088	184	<u>191</u>	<u>△7</u>

関係各位にご迷惑をお掛けしましたことを深くお詫び申し上げます。

庶務委員会

地区・特別委員会の力

平成28・29年度 役員紹介

●地区委員会●

第1地区委員長（理事・城東支部委員長）

東京通信病院 齊藤 謙一



引き続き第1地区の地区委員長を務めることになりました、東京通信病院の齊藤です。さらに今期初めて城東支部の支部委員長も、務めさせていただくことになりました。

地区委員長は今期で4期目となります。私一人では何もできません。私と共に活動している8名の地区委員の協力のもと、第1地区会員の皆さんに情報提供と、親睦を深めていただけるように地区研修会などを企画・開催しております。皆さんのご参加とご協力をお願いしたいと思っております。さらにこれらの活動をより活発にしていくために随時地区委員も募集しております。

また城東支部は、第1地区の他に第2地区、第7地区、第14地区の4地区で構成されております。各地区委員長を中心に支部研修会と中央区健康福祉まつりなどを企画・開催しておりますが、こちらも皆さんのご参加とご協力をお願いしたいと思っております。

第1地区・城東支部の会員の皆さんのご協力があつての技師会活動だと思っております。皆さんのご理解とご指導をお願い致します。

第2地区委員長

浅草病院 関谷 薫



このたび、藤田前理事より、第2地区の委員長を拝命します、上尾中央医科グループ浅草病院の関谷です。第2地区は中央区、台東区で構成されています。地区委員も、大小さまざまな病院で構成されており、地区を活性化すべく日々精進しております。

中央区クリーンデーの清掃活動や中央区健康福祉祭りでのマンモグラフィー検査の受診啓発活動など、中央区での活動が目立っていますが、今後は、台東区での活動も予定しております。地区の会員さまの参加もよろしくお願ひいたします。

当院は本年5月に東京スカイツリーを望む隅田川沿いに新築移転しました。隅田川花火大会も職員休憩所や、各病室から眺めることができます。お近くにお越しの際にはお声をおかけください。

今後も診療放射線技師が、患者が安心して健康な生活が送っていくのに欠かすことができない魅力的な存在でいられることを目標として、技師会、地区活動を進めてまいります。

就任1年目で、至らぬ点が多々あるかもしれません、よろしくお願ひいたします。

**第3地区委員長（理事・城西支部委員長）
東京医科大学病院 平瀬 繁男**



このたび、第3地区委員長に就任いたしました平瀬です。今期で3期目になります。どうぞよろしくお願ひいたします。

3期目となり地区委員同士の信頼関係も構築され活発に行動をしています。全員40歳代以下の若い委員で地区を引っ張って行こうと思っています。第3地区は新宿区のみで構成されています。大きな病院がとても多いため、一部の方を除き自施設内でまとまってしまい、他施設の方と交流を持たない方が多いように見受けられます。技師会を通じて他施設の方と交流ができる場所を提供したいと考えています。

公益社団法人日本診療放射線技師会・公益社団法人東京都診療放射線技師会は職能団体です。国家試験に合格した診療放射線技師だけが、厚生労働省・東京都に認可された、この団体に加入できます。地区活動を活発にしていき、皆さんに認知され身近に感じられる東京都診療放射線技師会にしていきたいと思っています。

どうぞ皆さまの忌憚のない意見をお待ちしています。メールアドレス；area03@tart.jp

**第4地区委員長（理事）
日本赤十字社医療センター病院 竹安 直行**



このたび、第4地区委員長に就任いたしました竹安です。今期で2期目になります。どうぞよろしくお願ひいたします。

この第4地区は、渋谷区・港区の会員の方々で構成され、地区の会員数は200名弱、地区委員は19名で会を盛り上げております。当地区の動きとして、本年度は城南支部（第4・8・11・15地区）の支部研修会を中心的な立場で開催しました。また、大田フェスタにも参加しております。来年度は、地区主催の勉強会を開催する予定であります。

東京都放射線技師会は年々会員数が増えており、診療放射線技師の職能団体としての役割も大きくなっています。そのため、横のつながりの大切さも必要だと考えております。

現在では、インターネットやメールでのやり取りが多くなってきていますが、勉強会やイベントに皆さんと一緒に参加して、Face to Faceの付き合いを広げていきたいと思います。診療放射線技師のつながりをもっと高めていこうではありませんか。イベントなどを通じて皆さんとお会いできること楽しみにしております。今後ともよろしくお願ひいたします。

第5地区委員長

順天堂大学医学部附属順天堂医院 稲毛 秀一

このたび、第5地区の委員長を務めさせていただく事となりました、順天堂大学医学部附属順天堂医院の稻毛秀一と申します。地区委員長という大役が私のような者に務まるか不安ですが、先輩方にご指導を賜りながら精一杯頑張りたいと思っております。



第5地区は北区、文京区からなり、現在約100名の会員が所属しております。大学病院からクリニックまでさまざまな施設で活躍している会員の方がいらっしゃいますので、研修会などにおきましては大学病院が4施設あるという特徴を生かして最先端の研究について取り上げたり、翌日から実践できるような基礎的な項目を取り上げたりと皆さんに参加して頂けるような内容にて行ってまいりたいと考えております。まだまだ未熟者でございますが先輩方、地区委員の皆さんと一緒にになって会員の皆さんに有用な情報を発信していきたいと思っております。どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

第6地区委員長（理事）

足立共済病院 高橋 克行

このたび、第6地区委員長に就任いたしました高橋です。趣味はボディビルです。ボディビルの良いところは、コツコツ積み重ねた努力が目に見えて反映され、そしてコンテストにて客観的に順位づけされるところです。自分を見つめ、他人から評価される。これは、診療放射線技師の仕事にも通ずるところがあると思っています。



会員の皆さんと共に、第6地区（荒川区・足立区・葛飾区）や東放技のビルドアップに貢献できるよう、夢（プロテイン）を持って精一がんばります。筋肉は一日にして成らず、診療放射線技師も一日にして成らず。何分初めてのことばかりで、いろいろご指導いただくこともあるかと存じますが、何とぞ前任者と変わらず、ご指導くださいますようお願ひいたします。

第7地区委員長

京葉病院 富丸 佳一

引き続き第7地区委員長に就任しました京葉病院の富丸です。今期で2期目となります。前年度の地区活動があまりできなかった事を反省し、今期は地区の活動をガンガン盛り上げていこうと考えております。

第7地区は江戸川区、墨田区、江東区の3つの区で構成されており会員数が約100人います。この地区の方々が技師会活動を通じいろいろな交流ができるように頑張っていきたいと思います。また私の職場は小さな病院であります。そんな中小の病院の声を技師会に届けるように活動していく様に努めていきたいと思っておりますので、どんな些細な事でも地区に関する意見や疑問などありましたら気軽に連絡をください。一緒に活動してくださる地区委員も募集していますので、興味がある方は連絡をください（見学だけでも大歓迎です）。一人でも多くの会員の方と会える事を楽しみに、これから技師会活動を頑張り、そして楽しんでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。メールアドレス：area07@tart.jp



第8地区委員長

株式会社東芝 東芝病院 鎌田 治



このたび、第8地区委員長として2期目を務めることになりました、東芝病院の鎌田です。前期では、周りの方々に支えられて何とか2年間が過ぎていきましたが、今期はその経験と反省を活かし、品川区、大田区の第8地区会員のために活動したいと思っています。特に、近隣の他施設の会員同士が交流できる機会は大切だと考えていますので、引き続き研修会や施設見学会、情報交換会などを企画していきたいと思います。

また、毎年11月ごろ大田区の平和島で行われるOTAふれあいフェスタにも毎回参加し広報活動をしていますので、興味のある方はこちらのブースにも足をお運びください。

地区委員の方々と協力し楽しみながら、地区から盛り上げていきたいと思っております。ご意見やご要望などございましたら、第8地区メールアドレス：area08@tart.jpまでご連絡ください。どうぞよろしくお願い致します。

第9地区委員長（理事）

日本大学医学部附属板橋病院 市川 篤志



このたび第9地区委員長を就任いたしました、日本大学医学部附属板橋病院の市川篤志です。初めての大役を仰せつかり心地よい緊張感のもと決意を新たにしております。地区の皆さんと共に力を合わせ、何かをやってみたいという強い思いで職責を果たす所存でございます。今まで以上にアグレッシブな地区活動ができるか考えております。会員の皆さまのご意見、ご要望がありましたら参考にさせていただきます。地区研修会だけではなく、いろいろな企画にもチャレンジし、多くの会員の皆さんと関わり私自身も成長していくことを思っております。東京都診療放射線技師会という絆を深め個々の向上だけでなく、ご施設や地域の向上も目指していきたいと思っております。地区委員は常に募集しております。板橋区、豊島区の会員で、ともに頑張っていただける方がいらっしゃいましたらお声掛けください。よろしくお願ひいたします。

第10地区委員長

練馬総合病院 澤田 恒久



このたび、第10地区委員長を務めさせていただくことになりました練馬総合病院の澤田です。第10地区は練馬区、中野区、杉並区の3区のエリアから構成されています。現在10名の委員が在籍しています。委員長として力不足ではありますが、経験豊富な地区委員の方々をはじめ、ご活躍されている診療放射線技師の皆さんと共に、地区活動を行っていくことができればと思います。どうぞ宜しくお願ひ致します。

第11地区委員長

東邦大学医療センター大橋病院 千葉 利昭

今季も引き続き地区委員長を務めさせていただきます千葉と申します。第11地区的皆さまよろしくお願ひいたします。今期も今まで以上に地域の会員との交流を図ることに力を注ぎ、皆さまに必要とされる技師会となれるよう地区委員一丸となって頑張っていきたいと思います。

第11地区は目黒区と世田谷区で構成され、現在の会員数は75名ほどです。あまり大所帯ではない地区ですので、会員の意見を反映しやすい環境であると思います。技師会へのご意見、希望する研修会のテーマや業務相談などございましたら、下記メールアドレスに遠慮なくお申し付けください。連絡お待ちしています。第11地区メールアドレス：areall1@tart.jp



第12地区委員長

公立昭和病院 鈴木 晋

今期で3期目の委員長就任になりました公立昭和病院の鈴木です。引き続き皆さまのご協力をよろしくお願ひ致します。第12地区は西武線沿線の多摩地域7市（西東京市・小平市・東久留米市・清瀬市・東村山市・東大和市・武蔵村山市）の会員数80名程で構成されています。また、第12地区と隣の第13地区で多摩支部を構成しています。近頃の傾向として、20歳代の若い診療放射線技師の入会や研修会での発表などが活発になっています。若い方は、これから何十年も診療放射線技師として働くことと思います。この職種を維持・発展させるためにも、ぜひ技師会活動に参加してください。行政へ意見を言えるのは職能団体である診療放射線技師会だけなのです。また、私のようなそろそろリタイアする年代の方は、今まで診療放射線技師として働いてこられたことに感謝し、後輩たちのためにも技師会活動へのご理解・ご協力をよろしくお願ひ致します。



第13地区委員長（理事・多摩支部委員長）

百草の森ふれあいクリニック 崎浜 秀幸

第13地区的地区委員長、2期目を務めさせていただきます崎浜です。

今期は多摩支部長を務めさせて頂きます。多摩支部は第12地区（西東京市、清瀬市、東久留米市、小平市、東村山市、東大和市、武蔵村山市）と、第13地区は上記以外の19市3町1村と東京都の中で一番広い面積の支部になり、約400名と多くの会員を有する地域となっています。そのため、会員同士の交流も少なく、23区で行われる研修会への参加も難しい施設もあります。

多摩地域でも、活気のある研修会を考えております。本年5月に行いました、地区研修会では70名と多くの方にご参加いただきました。これからも、気軽に参加できる場所・テーマを作り、第12・第13地区委員と共に活気ある地区にしていきたいと思っています。その為には、会員皆さまのご協力も必要になります。今後の活動状況をホームページなどでご確認いただき、研修会へのご参加をよろしくお願ひします。



第14地区委員長 松戸市立病院 宮谷 勝巳

本年度、第14地区委員長に就任いたしました宮谷です。第14地区は、主に千葉県の施設に所属する東京都放射線技師会所属の技師で構成されています。現在地区の会員数は92名ほどおります。主な施設は、東京慈恵会医科大学附属柏病院、松戸市立病院、日本医科大学千葉北総病院、津田沼中央総合病院、東京勤労者医療会東葛病院などがあります。地区委員長となって考えることは、どうして地区委員のなり手がいないのだろうということです。ここ数年メンバーに変化がありません。どうやったら他の施設から地区委員になつてもらえるか悩ましいところであります。まずは、他の地区の活動などを勉強させていただき技師会活動に慣れていくかと思います。今後ともよろしくお願ひします



第15地区委員長（理事・城南支部委員長） 帝京大学医学部附属溝口病院 原子 満

引き続き第15地区委員長と、新たに理事・城南支部委員長を努めさせていただきました原子です。第15地区（神奈川方面地域）委員長は4期目となります。



平成26年度に正会員地区となってから、会員数も少しずつではありますが増え130名程となります。本年度は念願の地区委員も新たに1名加わり、7名の地区委員のお力添えのもと活動させていただいております。地区の活動が会員にとって一番身近な存在となり、学会や研修会などでは得られない貴重な情報交換の拠り所となる場を、今後も作っていきたいと思っております。

また、城南支部委員長として第4、8、11地区の連携と活発な意見交換を通して、各地区的活性化を図り、本会を盛り上げていきたいと考えております。どうぞよろしくお願ひいたします。

第16地区委員長（理事・城北支部委員長） 春日部市立医療センター 工藤 年男



今期、16地区委員長を担当する春日部市立医療センター勤務の工藤です。

第16地区会員とは、勤務場所（職場）が埼玉方面もしくは、住まいが埼玉県内で東京都内の勤務が埼玉県方面に転勤された方が第16地区会員として現在56名の方が登録されております。

これまで、監督官庁である東京都指導により、勤務地もしくは自宅が東京都内でない会員は賛助会員の登録でしたが、平成26年6月に開催された公益社団法人東京都診療放射線技師会定期総会で定款改正が承認され、診療放射線技師又は診療エックス線技師の資格を有する本会の会員は、全て正会員となりました。

第16地区活動として、毎年、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会と合同で、地区勉強会を実施しております。今年度は骨軟部診断情報研究会との共催で平成29年2月25日（土）10:00～18:00済生会川口総合病院の講堂で合同の勉強会を開催いたします。

●特別委員会●

SR推進（公益・災害）委員長
東京大学医学部附属病院 渡辺 靖志

災害対策委員会からSR推進委員会と名称が変更されましたが、引き続き委員長を務めさせていただくことになりました。SRとは、Social Responsibilityの略で、社会的責任を意味しています。従いまして当委員会の任務は、東京都診療放射線技師会の災害対策と公益事業を推進することです。



災害対策については、これまでの事業を継続し、首都直下地震をはじめとする自然災害への対策などの啓発・推進を図っていきたいと思います。

公益事業については、内に向けた目としてコンプライアンスやガバナンスに問題のある事業が行わるところが無いよう、推進していきたいと思います。また、外に向けた目として、会員のみならず社会に貢献する事業を推進していきたいと思います。

会員の皆さんには、当委員会の活動に関してご理解いただき、ご協力いただければと願っております。

東放技は積極的に参加します

レントゲン週間 『11月2日(水)～8日(火)』
イベント

平成28年11月5日(土) 横浜クイーンズサークル

OTAふれあい フェスタ2016

平成28年11月12日(土)～13日(日) ポートレース平和島(水のエリア)

ピンクリボン ウォーク2017

(予定) 日比谷公園

第15回サマーセミナーに参加して

匿名希望

第15回サマーセミナーに参加させていただきました。私は一般撮影を5年間、CT撮影を5年間従事しており、今回のサマーセミナーは急性疾患、外傷ということでも興味を持って拝聴させていただきました。土曜日は午前中が仕事なので15時開始はちょうど良い感じがしました。2回目の参加ですが、多くの方々がいるのにビックリしながら講義がはじまりました。

最初は頭部外傷の講義でしたが、普段漠然と撮影していることが多く、解剖など含めて詳しく覚えないといけないと思いました。

椎体外傷では撮影時の注意事項などもレクチャーしていただき、急患患者の取り扱いなどについて勉強になりました。

当院では胸部・胸郭外傷は患者が少ないのであまり目にしませんが、講師の先生のおっしゃった「Time

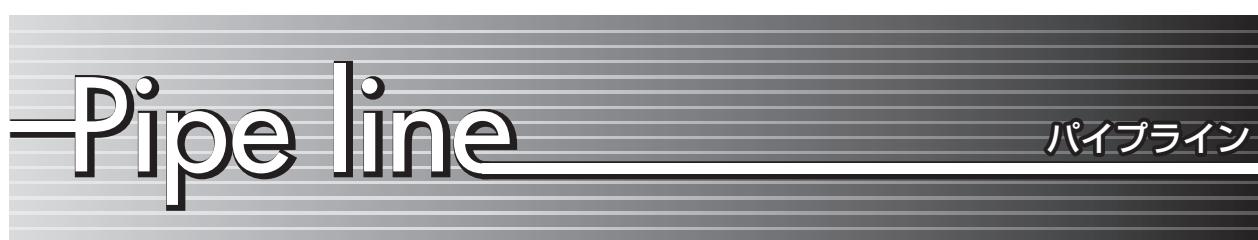
is life」の認識を持って臨床に活かしたいと思いました。また今後はこの分野の知識を持ちたいと思いました。

骨盤外傷も胸部・胸郭外傷と同じように生命に直結する分野でとても勉強になりました。当院は2次救急病院で重篤な患者の搬送は少ないですが、まったく来ないわけではないので、いざということに慌てないようにしっかりとした知識を身に着けたいと思います。

全ての講師の先生のスライドにおいて、出てくる写真や用語などを見るたびに、まだまだ勉強不足ということを痛感いたしました。資料はやや見づらく、メモを取って記入するのに苦労しました。そのため時間の過ぎるのが早く感じ、良く勉強できた気もしました。

今後は今日のことを踏まえて日常診療に役立てていきたいと思います。





超音波画像研究会 定例会・講習会

<http://us-image.kenkyuukai.jp/>

第247回定例会

日 時：平成28年11月9日（水）19時00分（受付18時30分）

会 場：東京都診療放射線技師会研修センター（東京都荒川区西日暮里2-22-1）

講 師：慈友クリニック 堀 洋児 先生

テ ー マ：『腎尿路の正常変異』

参 加 費：会員500円/準会員・非会員1000円/新入会3000円（入会金含む）/学生無料

例えば馬蹄腎、これは2,000人に1人の頻度と言われます。1日10人すべて新患と仮定して腹部エコー検査を担当しているとすれば1年に1例は遭遇している計算です。これまで遭遇していないとすれば見逃している可能性も考えられます。また、重複腎孟かBertin柱により分離して見える腎中心高エコー帯なのか迷うことしばしばです。その他の正常変異を含め、知識を深めておけば、迷った際の道標となることと考え、堀先生にご講義して頂きます。

申込方法・問合せなど詳細は超音波画像研究会ホームページにて

問合せ先：中央医療技術専門学校 菅 和雄、今尾 仁 あて

tel 03-3691-1879 (16時30分～18時)

超音波画像研究会 事務局

e-mail us.image.workshop@gmail.com

平成28年度 東京都がん検診センター マンモグラフィ研修会（読影補助編）

マンモグラフィ検査に携わって間もない方、基礎から学びたい方を対象に、読影の基礎を内容とした研修会を実施します。用語の解説などの講義を行い、読影実習では実際に症例を見て読影し解説を行います。

- 1 対 象： 診療放射線技師

2 実施日時： 第3回 平成28年11月17日（木） 13:55～17:30
第4回 平成28年11月18日（金） 13:55～17:30
※2回とも同じ内容です。

3 内 容：
13:55～ オリエンテーション
14:00～15:00 講義『乳がん検診の概要と所見用語の解説』 当センター診療放射線技師
15:10～17:30 臨床マンモグラム読影実習（グループ実習） 当センター診療放射線技師

4 会 場： 東京都がん検診センター 2階研修室 （下図参照）

5 募集定員： 各回 先着36名

6 受 講 料： 3,000円（当日、お持ちください）

7 持 ち 物： ルーペ（写真読影時に使用）、筆記用具

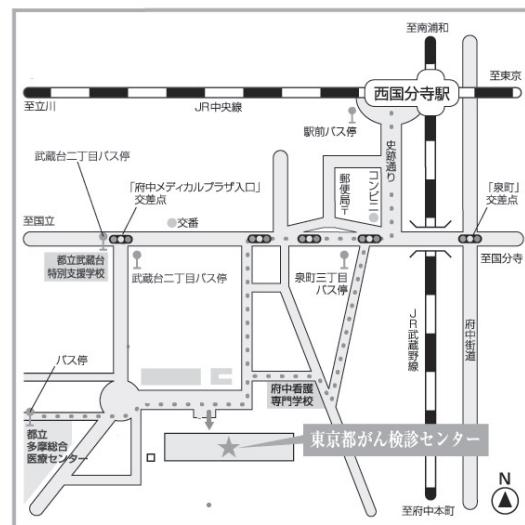
8 申込方法：①メールアドレスをお持ちの方
当センターホームページ（講習会・研修希望の方へ）から「インターネット予約」
にてお申込みください。
URL : <http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>
②メールアドレスをお持ちでない方
申込書をFAXにて下記までお送りください。
*FAXにてお申込みいただいた方全員に、受講の可否をご連絡いたします。

9 申込み及びお問合せ先
(公財) 東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当 藤澤
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
TEL:042-327-0201（代） FAX:042-327-0297
E-mail: togan@tokyo-cdc.jp URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/>

〈研修会場案内図〉

- JR 中央線・武藏野線「西国分寺駅」
徒步 15 分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
 - JR 中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
 - JR 中央線「国立駅」
国立駅南口「府中駅」行バス 終点下車
 - 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センター下車

*この研修会は日本乳がん検診精度管理中央機構の講習会ではありません。



平成28年度 東京都がん検診センター
マンモグラフィ研修会 ~読影補助編~
受講申請書

参加希望日に○をしてください。

() 第3回 平成28年11月17日(木) 13:55~17:30

() 第4回 平成28年11月18日(金) 13:55~17:30

ふりがな
氏名 _____ 性別 男・女

勤務先名称 _____

郵便番号 〒 _____

住所 _____

電話番号 _____

受講連絡先 _____
(FAX)

* お申込みいただいた方全員に、受講の可否を FAX にてご連絡いたします。

マンモグラフィ経験年数 _____

第15回全国X線 撮影技術読影研究会

NTRT in 信州松本

— 撮影法 撮影技術と画像読影 III —

日 時： 平成28年11月26日(土) 11:00～18:00

27日(日) 9:00～13:00

会 場： 長野県 松本市 本庄 2-5-1

社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 ヤマサホール

参加費： RT・一般 2,000円 学生 無料

主催 全国X線撮影技術読影研究会

<http://ntrt-ntrt.wix.com/ntrt>

後援 公益社団法人 日本診療放射線技師会

一般社団法人 長野県診療放射線技師会

第15回全国X線撮影技術読影研究会 信州松本

テーマ 画像読影と撮影法撮影技術III

日時：平成28年11月26日(土)11:00~18:00 27日(日)9:00~13:00

会場：社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 ヤマサホール(長野県松本市本庄 2-5-1)

会費：2000円 学生無料 情報交換会：11月26日(土)18:30～ ホテルブエナビスタ

プログラム

第1日 26日土曜日 11:00~18:00

講演1.「胸部FPDの撮影条件はこれだ！」 京都医療科学大学教授 小田綾弘

講演2.「放射線技師として肺がんを読む」 愛媛県立中央病院 原正和

講演3.「機能解剖筋肉鞘帯を理解する」 大垣市：元岐阜医療科学大学教授 市川秀男

講演4.「トモシンセシスの歴史と展望」 社会医療法人 抱生会 丸の内病院 平野浩志

講演5.「立位荷重撮影が可能な Tomosynthesis」 奈良県立医科大学附属病院 安藤英次

講演6.「X線撮影法を見直す」 千葉県：元日本医科大学千葉北総病院 川村義彦

講演7.「画像読影のあと診断治療に役立つ追加撮影をどうする！」 神戸平成病院 矢野雅昭

講演8.「放射線技師に求められる知識と技術」 福岡市：福岡整形外科病院 釘宮慎次郎

講演9.「骨盤骨折を考える」 愛媛県：社会医療法人真泉会今治第一病院 飯田譲次

第2日 27日日曜日 9:00~13:00

テーマ：画像読影と撮影法

1.「DRLsの導入への検討」 千葉県：済生会習志野病院 筑後孝夫

2.「高エネルギー外傷患者の骨盤撮影 一基礎と読影一」 信州大学医学部附属病院 武井学

3.「当院における膝関節ルーチン撮影法および使用補助具についての紹介」

JA長野厚生連 長野松代総合病院 竹下裕一朗

4.「仮題：画像読影と撮影法撮影技術」 長野県診療放射線技師

5.「肘関節2方向撮影の再考(画像読影の立場から)」 三菱神戸病院 高井夏樹

6.「非外傷における肩関節仰臥位ルーチン撮影とスポーツ障害(腱板疎部損傷)について」

兵庫県たつの市：信原病院 森岡重敏

7.「知識を実際の撮影に生かそう～腰椎立位PA半切撮影法」 大阪市：育和会記念病院 湯山浩

参加申し込み

当日は混雑が予想されますので参加事前登録をお願いいたします。*申し込み開始日 11月1日

件名を参加登録とし、お名前(ふりがな)、所在都道府県名、所属施設、情報交換会参加の有無を記載のうえ E-mail:15th.nrt.matsumoto@gmail.com(矢野雅昭)までお願いいたします。

認定単位：日本救急撮影技師認定機構2ポイント付与

代表世話人 市川秀男 副代表世話人 矢野雅昭
地区世話人 中沢利隆(長野県診療放射線技師会会长)

後援：公益社団法人日本診療放射線技師会
一般社団法人長野県診療放射線技師会

平成28年度 東京都がん検診センター マンモグラフィ研修会(ポジショニング入門)

マンモグラフィ検査に携わって間もない方、基礎から学びたい方を対象に、マンモグラフィ撮影技術に関する講義と実際に装置を使用しての実習を行います。

- 1 対 象 : 診療放射線技師

2 実 施 日 : 第5回 平成28年12月8日(木) 13:25~17:00
第6回 平成28年12月9日(金) 13:25~17:00
※2回とも同じ内容です

3 内 容 : 講 義 『ポジショニング』
グループ実習

4 会 場 : 東京都がん検診センター 2階研修室(下図参照)

5 募集人数 : 各回 先着30名程度

6 受 講 料 : 3,000円(当日、お持ちください)

7 持 ち 物 : 筆記用具

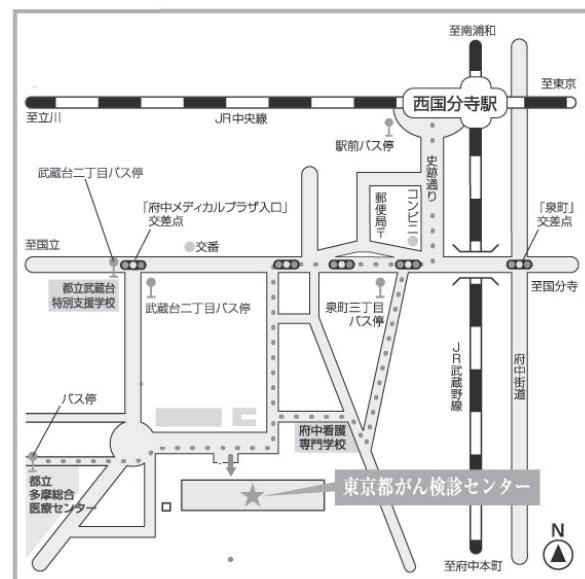
8 申込方法 : ①メールアドレスをお持ちの方
当センターホームページ(講習会・研修希望の方へ)から「インターネット予約」
にてお申込みください。
URL : <http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>
②メールアドレスをお持ちでない方
申込書をFAXにて下記までお送りください。
FAXでお申込みいただいた方全員に、受講の可否をご連絡いたします。

9 申込み及びお問合せ先

(公財) 東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当 藤澤
〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2
TEL:042-327-0201(代) FAX:042-327-0297
E-mail: togan@tokyo-cdc.jp URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/>

＜研修会場案内図＞

- JR 中央線・武藏野線「西国分寺駅」
徒步 15 分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
 - JR 中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
 - JR 中央線「国立駅」
国立駅南口「府中駅」行バス 総合医療センター下車
 - 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センター下車



*この研修会は日本乳がん検診精度管理中央機構の講習会ではありません。

平成28年度 東京都がん検診センター
マンモグラフィ研修会 ~ポジショニング入門~
受講申請書

参加希望日に○をしてください。

() 第5回 平成28年12月8日(木) 13:25~17:00

() 第6回 平成28年12月9日(金) 13:25~17:00

ふりがな
氏名 _____ 性別 男・女

施設名 _____

住所 _____

電話番号 _____

受講可否連絡先 _____
(FAX)

マンモ経験年数 _____

マンモ撮影人数 _____ 人/週

FAXでお申込みいただいた方全員に、受講の可否をご連絡いたします

平成28年度 東京都がん検診センター 第1回乳がん検診従事者講演会のお知らせ

- 1 実 施 日 : 平成28年12月1日(木曜日)16時00分から18時00分まで
- 2 会 場 : 東京都がん検診センター 3階講堂(下図参照)
- 3 対 象 : 乳がん検診に従事している医師、診療放射線技師 等
- 4 受 講 定 員 : 先着60名程度
- 5 受 講 料 : 3,000円(当日お持ちください)
- 6 申 込 方 法 : 当センターホームページ(講習会・研修希望の方へ)から「インターネット予約」にてお申込みください
URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/kousyuu/kensyuu/asp.html>
- 7 テーマ及び講師

テーマ: 『 乳がんが診断に至るまで 一総論一 』

講 師: がん・感染症センター都立駒込病院 外科(乳腺) 医長
有賀 智之 先生

【講演概要】

近年罹患者数が増加の一途をたどる乳がん。
その乳がんはどのような経緯(発見契機、画像診断、病理診断)を経て診断にたどり着くのか?
また、その過程における検診の役割について一緒に考えたいと思います。

《お申込み・お問合せ先》

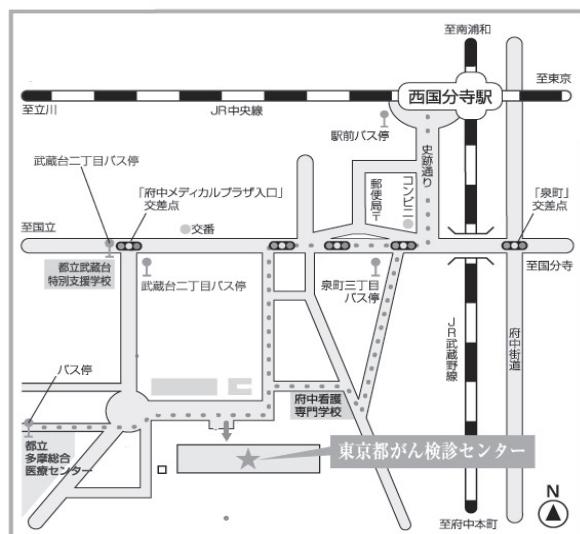
公益財団法人東京都保健医療公社 東京都がん検診センター 研修担当: 藤澤

〒183-0042 東京都府中市武蔵台2-9-2

TEL: 042-327-0201 FAX: 042-327-0297

E-mail: togan@tokyo-cdc.jp URL: <http://www.tokyo-cdc.jp/>

- JR 中央線・武蔵野線「西国分寺駅」
徒歩 15 分
西国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR 中央線「国分寺駅」
国分寺駅南口「総合医療センター」行バス 終点下車
- JR 中央線「国立駅」
国立駅南口「府中駅」行バス 総合医療センターアクセス
- 京王線「府中駅」
「国立駅」行バス 総合医療センターアクセス



超音波スクリーニング研修講演会2016五反田

- 会期：平成28年12月17日（土）午前9時55分～午後5時（開場・受付開始：9時00分～）
- 会場：TOC五反田メッセ（東京都品川区西五反田6-6-19）<http://messe.toc.co.jp/access/>
JR山手線『五反田』西口より徒歩10分
- 参加費：5,000円 事前登録不要
- 主催：特定非営利活動法人 超音波スクリーニングネットワーク（理事長：桑島 章）
- 共催：日本消化器がん検診学会／日本総合健診医学会
- 後援：日本超音波検査学会／超音波検査法フォーラム／全国労働衛生団体連合会
日本臨床衛生検査技師会／東京都臨床検査技師会／神奈川県臨床検査技師会
日本診療放射線技師会／東京都診療放射線技師会／神奈川県放射線技師会
- 問合せ：E-mail：us-net@pl-tokyo-kenkan.gr.jp（事務局）

プログラム テーマ『超音波所見を極める』

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| 09：55～ | 開会の辞 理事長 桑島 章 |
| 10：00～10：45 | 『肝臓』 講師：小川 真広（日本大学病院） |
| 11：00～11：45 | 『胆道』 講師：関口 隆三（東邦大学医療センター大橋病院） |
| 12：15～13：00 | ランチョンセミナー『超音波画像と病理』 講師：市原 真（札幌厚生病院） |
| 13：15～14：00 | 『乳腺』 講師：堀井 理恵（がん研有明病院） |
| 14：15～15：00 | 『腹部血管病変』 講師：平井 都始子（奈良県立医科大学附属病院） |
| 15：15～16：00 | 『腎・膀胱』 講師：森 秀明（杏林大学医学部付属病院） |
| 16：15～17：00 | 『脾臓』 講師：岡庭 信司（飯田市立病院） |
| 17：00 | 閉会の辞 副理事長 関口 隆三 |

- *超音波検査士資格更新の5点が付与されます。
- *ランチョンセミナーで昼食（900食）を用意しています。
- *超音波関連の書籍展示販売を行います。
- *詳細はホームページをご確認ください。（超音波スクリーニングネットワークで検索）
- *携帯電話用QRコード（対応機種で地図を表示できます）



平成28年度
第3回関東Angio研究会
ステップアップセミナー

脳神経領域における
画像診断からIVR

- 症例提示から学ぼう -

2017.1.7 (SAT) 12:30 受付
13:00 開始

第1部 症例提示

- Hybrid OR
- CCF : 頸動脈海綿靜脈洞瘻
- Brain tumor : 脳腫瘍
- CAS : 頸動脈ステント術
- dAVF : 硬膜動靜脈瘻
- Brain AVM : 脳動靜脈奇形
- Cerebral aneurysm : フローダイバーター
- 急性期脳梗塞 : 血栓回収術

第2部 医師講演

「脳血管内治療における現状と最新の知見について」

筑波メディカルセンター病院 脳神経外科 中居 康展

募集開始 2016.11.7 (MON) ~

申込方法 : 日本放射線技術学会関東支部ホームページ (<http://jsrt-kanto.org/category/angio/>)

定員 100名 日本放射線技術学会 会員 : 1000円 非会員 : 2000円

会場 筑波メディカルセンター

メディカルスクエア3F TMCホール

茨城県つくば市天久保1丁目3番地の1

主催:日本放射線技術学会関東支部 関東Angio研究会
後援:神奈川アンギオ撮影研究会, 千葉アンギオ技術研究会
埼玉心血管コメディカル研究会, 循環器画像技術研究会
栃木県カテーテル室スタッフ研究会, 茨城Angio研究会
茨城カテーテル治療コメディカルフロンティア研究会

お知らせ

平成 28 年度 第 3 回関東 Angio 研究会（第 3 回ステップアップセミナー） 『脳神経領域における画像診断から IVR - 症例提示から学ぼう -』

関東支部

関東 Angio 研究会主催「第 3 回ステップアップセミナー」を平成 29 年 1 月 7 日（土）に開催します。

ステップアップセミナーは、血管撮影技術のより高度な専門性を学習する場として位置づけており、今回は『脳神経領域における画像診断から IVR - 症例提示から学ぼう -』というテーマで講演会を企画しました。

近年の脳血管内治療は血栓回収器具やフローダイバーターなど新たなデバイスの開発・発展により、以前では治療が難しいとされてきた疾患に対しても次々と治療が可能となってきています。今回のセミナーでは、脳血管内治療の適応となる各疾患について、症例提示形式で術前の画像診断から術中の IVR の流れ、CBCT の活用方法など我々診療放射線技師に求められている知識や技術をわかりやすく解説していただきます。また、特別講演として「脳血管内治療における現状と最新の知見について」と題し、筑波メディカルセンター病院脳神経外科の中居先生をお招きし、最新の話題を講演していただきます。

脳血管内治療の知識をより深め、今後の臨床に活かしていただければ幸いです。多くの方のご参加をお待ちしています。

なお、本セミナー参加者には日本血管撮影・インターベンション専門診療放射線技師の認定ポイントが付加されます。

日 時：平成 29 年 1 月 7 日（土） 13:00～17:10 （12:30 受付開始）

会 場：筑波メディカルセンター メディカルスクエア 3 階 TMC ホール

〒305-8558 茨城県つくば市天久保 1 丁目 3 番地の 1

詳細は <http://www.tmch.or.jp/traffic/index.html> をご覧ください

募集定員：100 名（先着順。定員になり次第募集を終了します。）

参 加 費：会員 1,000 円 非会員 2,000 円

申込開始：平成 28 年 11 月 7 日（月）

申込方法：関東支部ホームページ (<http://jsrt-kanto.org/category/angio/>) よりお申し込みください。

プログラム：（予定）

13:00～13:10 開会式

関東 Angio 研究会 代表 坂本 肇

症例提示

13:10～13:30 脳腫瘍

横浜新都市脳神経外科病院 斎藤 誠

13:30～13:50 頸動脈ステント留置術

老年病研究所附属病院 高橋 康之

13:50～14:10 急性期血行再建術 - 血栓回収術 -

北里大学病院 塚野 優

14:10～14:30 Hybrid OR

筑波大学附属病院 大山 高一

14:30～14:40 休憩

14:40～15:00 脳動脈瘤 - Flow Diverter を中心に -

虎の門病院 濱田 祐介

15:00～15:20 硬膜動静脈瘻

東海大学医学部付属病院 山本 和幸

15:20～15:40 内頸動脈海綿靜脈洞瘻

筑波メディカルセンター病院 石橋 智通

15:40～16:00 脳動静脈奇形

総合病院国保旭中央病院 大木 規義

16:00～16:10 休憩

特別講演

16:10～17:00 脳血管内治療における現状と最新の知見について

筑波メディカルセンター病院 脳神経外科 中居 康展

17:00～17:10 閉会式

そ の 他：詳細は日本放射線技術学会関東支部ホームページ (<http://jsrt-kanto.org/>) でご確認ください。

問 合 先：筑波メディカルセンター病院 放射線技術科 石橋 智通

E-mail tnmobussy@yahoo.co.jp TEL 029-851-3511

後 援：神奈川アンギオ撮影研究会、千葉アンギオ技術研究会、埼玉心血管コメディカル研究会、循環器画像技術研究会、栃木県カテーテル室スタッフ研究会、茨城カテーテル治療コメディカルフロンティア研究会、茨城 Angio 研究会

News

11月号

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが、修正意見はなかった。

理事会定数確認

出席：18名、欠席：2名

会長挨拶

皆さまお久しぶりです。8月は通常会議などがありませんでしたので、ゆっくりと夏休みを取られた方もいると思います。今日から9月ということで、われわれの事業、それから各種学会などで9月、10月、11月と目白押しとなっています。そちらのほうも、皆さまと協力して進めていきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

報告事項

1) 会長

活動報告書の補足として、8月2日に記載にある、東京都柔道整復師診療放射線技師会とは、柔道整復師会の中の診療放射線技師免許を持っている方との情報交換をする会議であります。

追加の報告として、中村實元日本診療放射線技師会会长が亡くなり、明日9月2日、鈴鹿医療科学大学でお別れの会が開催されることになりましたので、東京都診療放射線技師会を代表して出席します。日放技の会長を34年間務められた方です。葬儀・告別式は親族のみにてとりおこなわれました。

8月30日に定款諸規程等検討委員会を再開しました。総会を代議員制に移行するための準備として定款の改正、諸規程、代議員の選出規程を検討するためです。地区制度のことも考える必要があるので、各支部長にも定款諸

日 時：平成28年9月1日(木)

午後6時45分～午後7時30分

場 所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

出席理事：篠原健一、白木 尚、石田秀樹、関 真一、
野口幸作、浅沼雅康、市川重司、江田哲男、
長谷川雅一、鈴木雄一、高野修彰、安宅里美、
竹安直行、高橋克行、市川篤志、崎浜秀幸、
原子満、工藤年男

出席監事：葛西一隆、野田扇三郎

指名出席者：関谷 薫（第2地区委員長）、稻毛秀一（第5地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、鎌田 修（第8地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、宮谷勝巳（第14地区委員長）、村山喜隆（総務委員）、雨宮広明（総務委員）、河内康志（総務委員）

欠席理事：齊藤謙一、平瀬繁男

議 長：篠原健一（会長）

司 会：石田秀樹（副会長）

議事録作成：雨宮広明、村山喜隆

規程等検討委員会のメンバーに承認していただければと思います。

10月にISRRT（世界診療放射線技師学術大会）が韓国で開催されます。本会がいざれ国際大会を運営することがほぼ決まっていますので、会場管理運営の観察をふくめ、私と石田副会長と江田理事、それから国際部・佐藤三郎顧問と参加します。もし皆さまの中にもISRRTに行かれる方がいましたらよろしくお願い致します。

・その他、活動報告書に追加なし

2) 副会長

白木副会長

・活動報告書に追加なし

石田副会長

・活動報告書に追加なし

3) 専門部委員会

・活動報告書に追加なし

4) 各委員会報告

・活動報告書に追加なし

5) 地区活動報告

・活動報告書に追加なし

6) その他

・活動報告書に追加なし

議 事

1) 事業申請について

①第60回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：クイズで学ぼう！ 骨折の画像診断

日 時：平成28年9月28日(水) 19:00～20:30

場 所：東放技研修センター開催

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

②第16回合同学術講演会

テーマ：災害に対する診療放射線技師の役割
日 時：平成28年10月8日(土) 15:00～18:00
場 所：国立病院機構災害医療センター研修室開催
上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

③練馬区健康フェスティバル

テーマ：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動。
日 時：平成28年10月16日(日) 10:00～16:00
場 所：豊島園開催
上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

④中央区健康福祉まつり

テーマ：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動。
日 時：平成28年10月23日(日) 10:00～15:00
場 所：中央区保健所開催
上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

⑤第58回きめこまかな生涯教育

テーマ：心筋梗塞
日 時：平成28年10月29日(土) 15:00～18:00
場 所：東放技研修センター開催
上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

⑥OTAふれあいフェスタ

テーマ：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動。
日 時：平成28年11月12日(土)～13(日) 10:00～16:00
場 所：ボートレース平和島(水のエリア)開催
上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

⑦おとな時間@早稲田の杜2016

テーマ：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動。
日 時：平成28年11月21日(月) 10:00～15:00
場 所：早稲田リーガロイヤルホテル開催
上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

2) 役員新任・変更について

第8地区委員

新任 吉田 大祐 NTT東日本関東病院 放射線部
学術教育委員変更

退任 圓城寺 純男 多摩南部地域病院

新任 圓城寺 純至 公立昭和病院

定款諸規程等検討委員会新任

各支部委員長 齊藤 謙一、原子 満、工藤 年男、

崎浜 秀幸

副会長 石田 秀樹

総務委員長 鈴木 雄一

鈴木総務委員長：今後、新任・変更の申請届のフォーマットを作成・改正していきますので、皆さまにご相談させていただきますので、よろしくお願い致します。

竹安委員長：定款諸規程等検討委員会は定款でいうと特別委員会になるのか、どういった立ち位置になるのか、特別委員会であれば事業として理事会承認の上で委員会が発足する形になるのでしょうか。

野口委員長：定款規程上、特別委員会となります。今回は前回の定款諸規程等検討委員会は解散をしていないので、休会していた委員会を再開する形になります。

竹安委員長：事業計画のような形で今回の目的は何かということを明確にした委員会が立ち上がったということでしょうか。

野口委員長：そうです。新しく会長からの諮問として代議員制に移行可能か、またその方策を検討してほしいという諮問があったので、休会していた定款諸規程等検討委員会が再開したということになります。

竹安委員長：委員会はそのまま存続していたということですか。

野口委員長：定款諸規程に改正するところがなければ会議を開くことがないので、今回、代議員制に移行できないかというのは一つですが、定款改正するのであれば、その他の定款や諸規程もふくめて検討することになりましたので、定款諸規程等検討委員会を再開することになり、それまでの委員を含め新たに、支部委員長と石田副会長と鈴木総務委員長が入ることを承認していただくことです。

竹安委員長：委員会の委員は立候補ではなく、会長の一任で決められていくと考えた方が良いのですか。

篠原会長：新たな委員会を作るときには立候補の形をとることもありますが、もともとこの委員会はありましたので、そこに支部長に入っていただき、今回は立候補という形は取りませんでした。今後、新たに特別委員会を作る際には、適任者を募るということは行うかもしれません。

3) 超音波スクリーニング研修講演会後援依頼

テーマ：超音波所見を極める

日 時：平成28年12月17日(土) 9:55～17:00

場 所：TOC五反田メッセ開催

上記開催について審議した。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

4) 新入退会について

7月：新入会 29名、転出1名、退会3名

8月：新入会 11名、転入1名、退会6名

会費滞納退会25名、会費免除者1名

篠原会長：7月、8月の入退会をみて、7月に2,242人、8月になつたら2,300人台に行くのかなと思ったら25名の未納退会で届きませんでした。定年などの方も何名かお見受けしますので仕方のない部分もあると思いますが、できれば未納退会にならないようにわれわれも努力しますので、皆さんでも声かけできる方がいましたらよろしくお願いします。まだ2,200人を超えてますのでなんとかこの調子で維持をしたいと思いますのでよろしくお願いします。

【承認：18名、保留：0名、否認0名】

地区質問、意見

竹安委員長：理事会の資料が本日も届いていたのですが、できれば前日までに完了していただきたい。当日だと確認ができません。

鈴木総務委員長：皆さまの協力をお願いします。原則として専門部委員会の2日前までに頂いた資料をまとめて配信させていただいております。忙しい中申し訳ないですが、できるだけ速やかに提出いただければ幸いです。遅れる際は事前に教えていただければありがとうございます。

連絡事項

1) 渉外委員会：高野理事

日本診療放射線技師会から30年50年の勤続表彰推薦の依頼が来ました。10月号の会誌には掲載しますが、地区の方で該当する方が居られましたら声をかけていただければ助かります。よろしくお願い致します。

竹安委員長：30年と50年の勤続表彰者推薦リストはもらえますか。

高野理事：本人には通知を送ってありますが、前年までに通知が届いて表彰を受けられていない方は声をかけていただければ、また推薦候補として提出します。何かお困りでしたら渉外委員会に声をかけてください。

2) 編集委員会：浅沼理事

役員改選にあたり、三役を除く地区委員長ならびに専門部委員長を紹介する記事を掲載します。文字の数などを記載したフォーマットを週末に送りますので、1カ月くらいの期限で執筆していただきたいと思います。強制ではありませんが、できれば顔写真も送ってください。ご協力をお願い致します。

3) 学術教育委員会：市川理事

第15回サマーセミナーをよろしくお願いします。当日参加でも結構です。懇親会もありますのでぜひ参加していただければと思います。10月8日(土)に開催する技術学会の東京支部との合同学術講演会ですが、今回は東京支部の方からぜひ多摩の地域で開催をしたいと要望があり、災害医療センターで開催しますのでご協力お願い致します。

4) 情報委員会：安宅理事

匿名で地区的ホームページが更新されていないとメールを頂きました。地区的ホームページはその地区の有志の方が作ってくださって載せていますので、もし各地区でのホームページで何かお困りで協力、アドバイスなどが必要ありましたら、情報委員会に連絡ください。

5) 各地区より

竹安委員長：9月30日に城南研修会が慈恵医大であります。今回はCTの「WAZA-ARI」というソフトを使ってどこまで被ばくを管理、測定ができるのか行いたいと思いますのでぜひいらしてください。

千葉委員長：東京都放射線技師会のホームページを見ましたら第11地区研修会トップページの申し込み日が2月10日になっていますが、11月10日です。日付が間違っていますので改正の要望を出しています。

宮谷委員長：第14地区で地区的集い（ビール工場の見学含）を9月24日(土)に開催します。前地区委員長の内山さんが幹事ですので参加する方はメールください。

鈴木総務委員長：予定表を更新時に配信していますが、誤りがあれば連絡ください。また、9月5日から事務局がしばらく不在になりますので、急用がありましたら、総務委員長または五役のどなたかにご連絡をお願いします。

その他

工藤理事：秋の叙勲を受章した鹿野和知さんからGPS時計を寄贈していただいております。

篠原会長：平成27年の秋に瑞宝双光章を受賞されています。東京都診療放射線技師会からの推薦で叙勲をうけたのでということで記念品を贈呈していただきました。ありがとうございます。

竹安理事：今回、会長の取り計らいにより地区の方から、研修の一環とさせていただく目的で、副委員長である東京都済生会中央病院の三上さんに参加いただきました。理事会をどんな形でやっているのかというのをお見せします。すごく勉強になると思いますので、もし他の地区の方でもいましたらこういうのも良いのかと思っています。機会をいただいたことを感謝しております。ありがとうございました。

篠原会長：いつでも傍聴自由で100人とか来られても困りますが、地区委員長を通して事前に言っていただければ私は問題ないと思います。閉鎖して密談するような理事会ではありませんので事前申請して傍聴していただければと思います。

今後の予定について

予定表（添付ファイル）の確認をお願いします。

以上

会員動向

平成28年1～9月期

年月	総会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
平成28年1月	2,154	5	0	0	4
平成28年2月	2,156	8	5	1	10
平成28年3月	2,136	3	7	2	28
平成28年4月	2,146	12	4	1	5
平成28年5月	2,176	34	2	3	3
平成28年6月	2,214	38	2	0	2
平成28年7月	2,242	29	0	1	0
平成28年8月	2,223	11	1	0	31
平成28年9月	2,251	30	2	2	2

イエローケーキ

MRIのおもちゃを知っていますか？

とあるSNSで後輩が「これ欲しいー！」と一言。どれどれ？ と、そこに紹介されていた外国のサイトを覗いてみると… なんと精密に作られたMRIのおもちゃ（レゴブロックの一種）ではないですか？！しかし、レゴ公認の専門家が作った商品で正規のレゴ製品ではないようですが、そんなことは正直関係ありません。子供に診療放射線技師としての自分の仕事を遊びながら伝えられたら、幸せだなと日々感じていたところにこのおもちゃに出会ってしまったわけで… もう一瞬で一目惚れです。しかも再販売はしないとも記載っていました。ですので、一刻も早く購入しようと思いましたがサイトには、医療従事者にしか販売しない商品であること、小児のMRI検査に関して教育（どういう検査なのか遊びながら慣れもらおう）するための商品であることが記載っていました。そこで、相談窓口に自分は診療放射線技師であること、自分の子供にMRIを教えたいため個人的に購入できるかとメールしたところ… 「No problem!!」と回答をもらい、無事に購入することができました。

初めての海外個人輸入でしたし、入金から商品到着まで1週間以上かかったため、毎日ドキドキでしたが、到着した商品を開けてみると、かなり細かなパーツと詳細な手順書であったため、完成までに3時間程度もかかってしまいました。しかし、造影剤自動注入器があったり、可動式ヘッドコイルがあったり、ナースコールがあったり、本当に良く作られています。

今、自分の子供はまだ1歳未満なので、一緒に遊びながらMRIとは何かを教える日は当分来ない？ のですが、その日が待ち遠しくてたまりません！

自称MRIマニア

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

平成28年度

1. 学術研修会
☆第15回ウインターセミナー 平成29年2月18日(土)
2. きめこまかな生涯教育
第59回きめこまかな生涯教育 平成29年3月
- ☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー
第61回日暮里塾ワンコインセミナー 平成28年11月30日(水)
4. 集中講習会
第9回M R I 集中講習会 平成29年1月14日(土)
- ☆5. 支部研修会
城北支部研修会 平成28年11月11日(金)
城西支部研修会 平成29年2月10日(金)
6. 地区研修会
第11地区研修会 平成28年11月10日(木)
第3地区研修会 平成28年11月25日(金)
第12地区研修会 平成29年1月26日(木)
7. 特別委員会研修会
電離箱式サーベイメータ確認校正 平成28年11月6日(日)
S R 推進委員会研修会(旧災害対策委員会研修会) 平成29年3月
9. 地球環境保全活動
荒川河川敷清掃活動
日暮里駅前清掃活動
富津海岸清掃活動

関連団体

- | | |
|----------------------------------|-----------------------|
| 超音波画像研究会 第247回定例会 | 平成28年11月9日(水) |
| 平成28年度第3・4回マンモグラフィ研修会(読影補助編) | 平成28年11月17日(木)、18日(金) |
| 平成28年度第4回業務拡大に伴う統一講習会 | 平成28年11月19日(土)～20日(日) |
| 第15回全国X線撮影技術読影研究会 | 平成28年11月26日(土)～27日(日) |
| 平成28年度第1回乳がん検診従事者講演 | 平成28年12月1日(木) |
| 平成28年度第5・6回マンモグラフィ研修会(ポジショニング入門) | 平成28年12月8日(木)、9日(金) |
| 超音波スクリーニング研修講演会2016五反田 | 平成28年12月17日(土) |
| 平成28年度第3回関東Anglo研究会 スッテップアップセミナー | 平成29年1月7日(土) |

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

診療放射線学科専任教員募集

東京電子専門学校

医療・コンピュータ・電子の総合学園、創立70年の伝統と4省認定校

募集対象者：診療放射線技師（臨床実務経験5年以上）、教育経験あればなお可

募集人員：若干名

学校名：東京電子専門学校

住所：〒170-8418 東京都豊島区東池袋3丁目6番1号

待遇：経歴、資格、前給等を考慮して本校規定により優遇

賞与（昨年度実績5.45月）、交通費支給

勤務・休日：9:00～17:00（実勤7時間）、週休2日（土日祭休）休出は代休有、半日有給制度有

社会保険：社会保険完備（私学共済等）

宿舎の有無：なし

応募方法：履歴書（写）、職務経歴書、資格者証のコピー（必要なもののみ）、通勤可能な方、担当できる教科（可能であればお知らせください）

担当者：脇坂 哲夫 E-mail : saiyo@tokyo-ec.ac.jp

TEL : 03(3982)3131(大代表) FAX : 03(3980)6404

JMB 医療スタッフ随時募集中!!

診療放射線技師・看護師・保健師・臨床検査技師・薬剤師・歯科衛生士・管理栄養士

当社は、今迄数多くの病院・医療機関等より要請を承っております。

勤務の内容や時間帯、単発的なアルバイトや転職など、皆さまのご希望に合わせてお仕事をご紹介いたします。

医療スタッフを随時募集しております。ご友人などのご紹介も随時受け付けております。

★まずはお気軽にご連絡下さい。詳しくご説明させて頂きます。

★登録・紹介料は不要です。

★受付時間 平日 9:00～17:30

土曜日 9:00～13:00

（日曜日・祝祭日休み）

株式会社ジャパン・メディカル・ブランチ

フリーダイヤル 0120-08-5801

〒134-0088 東京都江戸川区西葛西6丁目17番5号 TEL : 03-3869-5801

URL : <http://www.jmb88.co.jp> FAX : 03-3869-5802 E-mail : info@jmb88.co.jp

一般労働者派遣事業許可 般13-301371 有料職業紹介事業許可 13-ユ-130023

診療放射線技師募集

医療法人社団 佳仁会

募集対象者：診療放射線技師（パート・アルバイト・臨時）

募集人員：2名

年齢制限：なし

住所：〒181-0013 東京都三鷹市下連雀8-9-21

アクセス：三鷹駅・吉祥寺駅からバス15分

勤務時間：1) 9:00~13:00、2) 9:00~17:30、休憩60分

待遇：基本給2,000円~3,000円、賞与あり

必要な資格：検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師、臨床経験

施設ホームページ：<http://www.keijin-kai.or.jp/>

その他：※常勤1名体制のため、土曜日を中心に休みのカバーをしていただきたい。

※就業時間は相談に応じます。

連絡先：TEL 0422-43-1011、E-mail abe@keijin-kai.or.jp、担当 阿部

MORIYAMA多目的診断用保持具

Round Foam

多目的診断用保持具・ラウンドフォーム

MORIYAMA



しっかり安定、ラクラク撮影!
患者さんの負担を軽減し、
撮影の妨げを解消する
「ラウンドフォーム」

ラウンド加工により、
患者さんにもやさしいソフトな感触。
X線撮影時にエッジ部分が
写り難くなりました。



MORIYAMA
Round
FOAM

※RoHS指令(特定の有害物質使用規制に関する指令)に対応しております。

MORIYAMA
MEDICAL EQUIPMENTS
SINCE 1954

株式会社森山X線用品

営業部/〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目24番11号 TEL.03-3811-5811(代) FAX.03-3811-5484

本社/〒123-0873 東京都足立区扇1丁目52番12号 TEL.03-3898-3151(代) FAX.03-3898-3510

MORIYAMA X-RAY EQUIPMENTS CO.,LTD. <http://www.moriyama-x.co.jp> E-mail info@moriyama-x.co.jp

公益社団法人 東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	平成 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人 東京都診療放射線技師会 事務所

Postscript

ア メックスクラブという活動を御存知でしょうか? ちなみに、米国由来の某クレジットカードとは関係がありません。

先日参加した循環器領域のIVRに関する学術大会のホームページに告知がでていたのですが…「学会早朝に走ったり歩いたりしてメタボを防ごう」というクラブで、Anti-Metabolic Syndrome with Exercise Club (AMEX Club)のことです。循環器科が対象とする疾患は糖尿病をはじめとする、メタボリックシンドロームがベースになっていることが少なくないので、それを治療する側が健康(メタボリックシンドロームでない)でなければいけないと趣旨で始められ、これまで50回以上も行われているそうです。

そのようなことを知った私は、かつて陸上部に所属していたことを思い出し(といっても当時の私は短距離が専門で大の長距離嫌いでいた)、ジョギング、Fun Runという言葉に誘われて参加してみました。その時の開催地は神戸だったので、リーダーの先生が、一般的な観光地を走るコースもいいけど、山手からの神戸も素晴らしいですよ、とおっしゃり、ジョギング、Fun Runがいつしかクロスカントリー(?)になってしまいました。学会のプログラム外の企画であるので、モーニングセッションまでには切り上げなければならず、いつしか皆さんは本気モードになっていました。

学会、研究会というとプログラムとにらめっこして、関心のあるものを一つでも多

く聴講しようしたり、また、発表を控えていたりすると参加中の慌ただしさは一層増してしまいます。そして日中のプログラム終了後は参加者同士の交流を深めることに時間を使うことが多く、日程中の朝にこのような企画が組み込まれていることはとても素晴らしいことだと思いました。プログラムに組み込まれている“リラックス企画”とは趣をかえたAMEX Clubの企画に、私は大いに感銘しました。

今回この企画に参加させてもらって、私もメタボリックシンドロームが他人事ではなく、このままいくと現実のものとなってしまうので、生活習慣を自覚する良いきっかけとなりました。

『僕らは、一緒に走る仲間を見つけて学会や、研究会朝のちょっとした時間を見つけて、走り続けてきた。今回も20人強のランナーが集まってくれた。みんな学会開催中の多忙な中、良く付き合ってくれると思う。感謝、感謝だね。』—主宰している先生のブログより。

このような企画をこれまでの長きに渡って継続していらっしゃる基幹メンバーの先生方に敬意を感じました。 <tenai>



■ 広告掲載社

医療法人社団 佳仁会
コニカミノルタジャパン(株)
(株)ジャパン・メディカル・プランチ
東京電子専門学校
東芝メディカルシステムズ(株)
(株)日立製作所
富士フィルムメディカル(株)
(株)森山X線用品

東京放射線 第63巻 第10号

平成28年10月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

平成28年11月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人 東京都診療放射線技師会

会長 篠原 健一

編集代表 浅沼 雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <http://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月～金 9:30～17:00

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日までは執務いたしません

電話・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

内藤哲也

岩井譜憲

森 美加

高橋克行

田沼征一

山崎綾乃